

～ 第3章 県政の運営に対する県民意識 ～

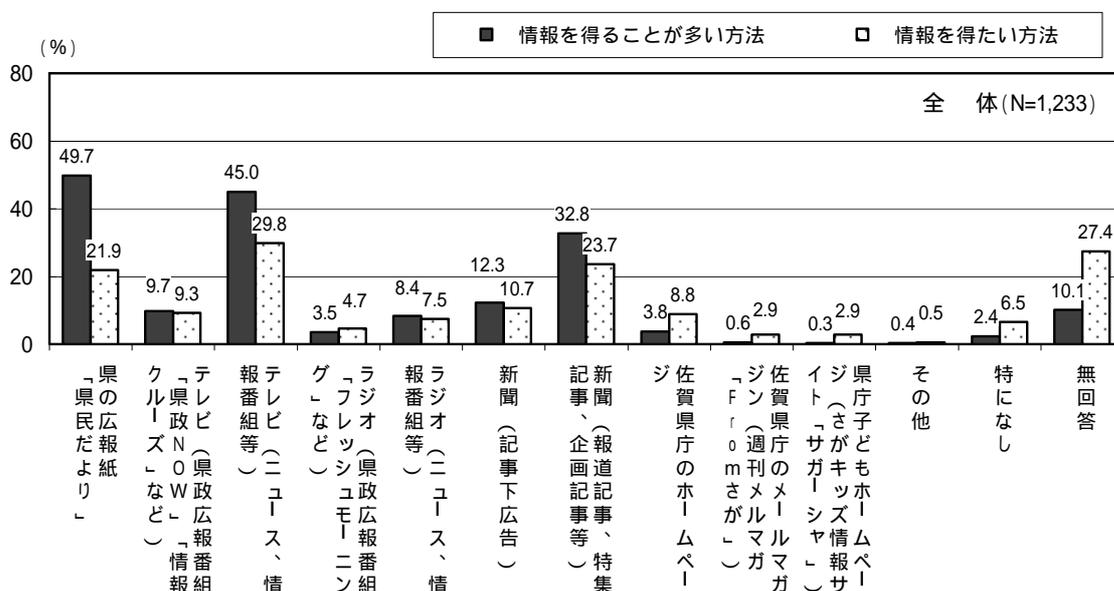
1. 県政情報の入手方法

問 27 県政について、県ではいろいろな方法で情報を発信しています。

県政についての「 情報を得ることが多い方法」「 情報を得たいと思う方法」は何ですか。

(はそれぞれ2つまで)

図3 - 1 県政情報の入手方法【全体】



入手方法

県政についての情報を得ることが多い方法は何か聞いたところ、「県の広報紙『県民だより』」が49.7%で最も高くなっている。以下、「テレビ(ニュース、情報番組等)」(45.0%)、「新聞(報道記事、特集記事、企画記事等)」(32.8%)などの順となっている。

なお、「佐賀県庁のホームページ」(3.8%)や「佐賀県庁のメールマガジン(週刊メルマガ『Fromさが』)」(0.6%)、「佐賀県庁の子どもホームページ(さがキッズ情報サイト『サガーシャ』)」(0.3%)といったインターネットによる方法は非常に低くなっている。

【属性別特徴】

性別では、「新聞(報道記事、特集記事、企画記事等)」で男性の方がやや高くなっているほかはあまり大きな差はみられない。

年代別にみると、男性は30代と50代以上、女性は40代以上で「県の広報紙『県民だより』」が最も高くなっている。

居住地別にみると、「県の広報紙『県民だより』」は、鳥栖市エリア(54.3%)と佐賀市エリア(51.5%)では高いが、唐津市エリア(45.8%)と武雄市エリア(48.8%)では低くなっている。

入手希望方法

県政についての情報を得たいと思う方法は何か聞いたところ、「テレビ(ニュース、情報番組等)」が29.8%で最も高く、以下、「新聞(報道記事、特集記事、企画記事等)」(23.7%)、「県の広報紙『県民だより』」(21.9%)などの順となっている。

なお、「佐賀県庁のホームページ」は8.8%と現状利用者(3.8%)に比べて高くなっている。

【属性別特徴】

性別では、「テレビ(ニュース、情報番組等)」は女性の方がやや高く、「佐賀県庁のホームページ」は男性の方がやや高くなっている。

年代別にみると、女性はすべての年代で「テレビ(ニュース、情報番組等)」が最も高くなっており、特に40代では5割近くに上っている。一方、男性は20~30代と60代では「新聞(報道記事、特集記事、企画記事等)」が最も高くなっている。また、「佐賀県庁のホームページ」は、男性20代の2割近くが希望している。

居住地別にみると、「県の広報紙『県民だより』」は、現状と同様、佐賀市エリア(27.0%)と鳥栖市エリア(23.5%)で高く、武雄市エリア(17.1%)と唐津市エリア(17.6%)で低くなっている。

表3-1(1) 県政情報の入手方法

(数値：%)

	サンプル数	情報を得ることが多い方法													
		県の広報紙「県民だより」	「テレビ（県政NOW）」「クルーズ」など	テレビ（ニュース、情報番組等）	ラジオ（県政広報番組「FMラジオ」など）	ラジオ（ニュース、情報番組等）	新聞（記事下広告）	新聞（報道記事、特集記事、企画記事等）	佐賀県庁のホームページ	「佐賀県庁のメルマガ」「フォームさがし」	「佐賀県庁のメルマガ」「さがし」	その他	特になし	無回答	
全体	1,233	49.7	9.7	45.0	3.5	8.4	12.3	32.8	3.8	0.6	0.3	0.4	2.4	10.1	
性別	男性	533	49.7	9.4	45.2	3.4	8.6	12.8	35.5	4.9	0.6	0.4	0.6	2.6	8.8
	女性	657	51.8	9.6	46.3	3.2	8.2	11.9	32.1	3.2	0.5	0.3	0.3	2.1	9.0
	無回答	43	18.6	14.0	23.3	9.3	7.0	14.0	11.6	-	4.7	-	-	4.7	41.9
性・年代別	男性 20代	37	37.8	10.8	45.9	-	10.8	8.1	40.5	5.4	-	-	-	8.1	2.7
	男性 30代	53	54.7	7.5	49.1	3.8	11.3	7.5	28.3	3.8	-	-	-	7.5	1.9
	男性 40代	85	45.9	11.8	54.1	4.7	7.1	12.9	48.2	9.4	1.2	-	-	3.5	2.4
	男性 50代	117	47.9	8.5	43.6	4.3	10.3	12.8	35.0	7.7	0.9	0.9	0.9	1.7	9.4
	男性 60代	103	51.5	7.8	43.7	1.0	6.8	16.5	42.7	1.9	-	-	-	1.0	9.7
	男性 70代以上	137	54.0	10.2	40.9	4.4	8.0	13.1	24.1	2.2	0.7	0.7	1.5	-	16.1
	男性 年齢無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	女性 20代	61	42.6	6.6	50.8	4.9	3.3	6.6	36.1	8.2	-	-	1.6	3.3	3.3
	女性 30代	89	44.9	11.2	46.1	2.2	11.2	6.7	39.3	2.2	-	-	1.1	4.5	4.5
	女性 40代	93	64.5	10.8	39.8	3.2	7.5	9.7	23.7	6.5	-	-	-	3.2	5.4
	女性 50代	152	53.3	5.3	44.7	5.3	9.9	13.8	28.9	-	-	-	-	0.7	11.8
	女性 60代	122	49.2	14.8	47.5	1.6	9.0	18.9	35.2	4.1	1.6	1.6	-	1.6	7.4
	女性 70代以上	140	52.1	9.3	49.3	2.1	6.4	10.7	32.1	2.1	0.7	-	-	1.4	15.0
	女性 年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	43	18.6	14.0	23.3	9.3	7.0	14.0	11.6	-	4.7	-	-	4.7	41.9	
性・未婚別	未婚男性	55	38.2	10.9	45.5	5.5	10.9	9.1	34.5	5.5	-	-	-	9.1	3.6
	既婚男性（配偶者あり）	425	52.0	9.2	45.9	3.3	8.2	13.2	37.2	4.5	0.5	0.2	0.5	1.9	8.2
	既婚男性（配偶者なし）	43	44.2	9.3	44.2	2.3	11.6	14.0	25.6	9.3	2.3	2.3	2.3	-	14.0
	男性 未婚無回答	10	40.0	10.0	20.0	-	-	10.0	10.0	-	-	-	-	10.0	40.0
	未婚女性	89	41.6	11.2	40.4	5.6	6.7	10.1	33.7	6.7	-	-	2.2	7.9	6.7
	既婚女性（配偶者あり）	411	52.8	9.0	46.5	3.2	9.5	13.4	31.9	2.7	0.5	0.5	-	1.2	8.3
	既婚女性（配偶者なし）	147	55.1	9.5	47.6	1.4	4.8	7.5	32.0	1.4	-	-	-	1.4	11.6
女性 未婚無回答	10	50.0	20.0	70.0	10.0	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	-	-	-	20.0	
無回答	43	18.6	14.0	23.3	9.3	7.0	14.0	11.6	-	4.7	-	-	4.7	41.9	
同居家族別	1歳未満	36	58.3	8.3	63.9	-	8.3	5.6	30.6	-	-	-	-	-	-
	1歳～小学校入学前	148	56.1	6.8	50.7	2.0	8.8	7.4	38.5	3.4	0.7	1.4	0.7	2.0	4.7
	小学生	183	54.1	11.5	49.2	3.8	7.1	10.9	36.1	4.9	0.5	1.1	0.5	1.6	6.0
	中学生	115	51.3	12.2	46.1	2.6	7.8	14.8	39.1	5.2	1.7	0.9	-	0.9	7.8
	高校生・高等専修学校生	119	50.4	10.9	46.2	5.0	10.9	15.1	34.5	4.2	0.8	0.8	-	1.7	9.2
	短大生・大学生・専門学校生	104	47.1	10.6	51.0	6.7	9.6	7.7	35.6	8.7	1.0	1.0	1.0	-	7.7
	15歳～34歳の未婚の社会人	315	48.6	7.6	46.0	5.4	9.8	14.0	35.2	3.5	-	-	1.0	4.1	6.7
	65歳以上の方	682	49.0	9.8	46.2	3.2	8.4	12.5	33.1	3.2	0.6	0.4	0.4	1.5	11.6
無回答	155	44.5	9.0	36.8	3.2	7.1	12.9	26.5	3.9	1.3	-	-	3.9	15.5	
居住地別	佐賀市エリア	429	51.5	7.9	42.9	3.7	10.3	10.0	35.9	4.9	0.2	-	0.5	2.3	8.4
	唐津市エリア	295	45.8	11.2	47.1	2.7	7.5	12.5	29.5	1.7	0.3	0.3	0.7	1.7	11.9
	鳥栖市エリア	234	54.3	9.4	46.2	3.4	5.6	15.0	33.3	2.6	1.3	0.4	-	2.6	6.8
	武雄市エリア	240	48.8	9.6	47.9	3.8	9.6	13.8	33.8	5.4	0.8	0.8	0.4	2.9	10.4
	無回答	35	37.1	20.0	25.7	5.7	2.9	11.4	14.3	5.7	2.9	-	-	5.7	34.3
ネット環境別	インターネットに接続している	423	51.8	9.5	50.6	2.6	7.1	10.9	37.1	7.6	0.5	0.2	0.2	2.8	4.0
	インターネットに接続していない	640	49.4	10.0	42.5	4.1	8.4	12.5	31.9	1.7	0.6	0.5	0.6	2.0	11.3
	無回答	170	45.9	8.8	40.6	3.5	11.2	15.3	25.9	2.4	1.2	-	-	2.9	20.6

表3-1(2) 県政情報の入手方法

(数値:%)

	サンプル数	情報を得たい方法													
		県の広報紙「県民だより」	テレビ（県政NOW）「クルーズ」など	テレビ（ニュース、情報番組等）	ラジオ（県政広報番組「FMラジオ」など）	ラジオ（ニュース、情報番組等）	新聞（記事下広告）	新聞（報道記事、特集記事、企画記事等）	佐賀県庁のホームページ	佐賀県庁のメルマガ「Fromさが」	佐賀県庁のメルマガ「イトサガ」	県庁子どもホームページ	その他	特になし	無回答
全体	1,233	21.9	9.3	29.8	4.7	7.5	10.7	23.7	8.8	2.9	2.9	0.5	6.5	27.4	
性別	男性	533	22.0	10.7	28.3	6.0	7.9	11.8	25.3	10.7	3.2	2.4	0.4	6.4	24.8
	女性	657	22.7	8.7	32.1	4.0	7.0	10.0	23.0	7.5	2.9	3.3	0.6	7.0	27.2
	無回答	43	9.3	2.3	14.0	-	11.6	7.0	14.0	4.7	-	2.3	-	-	62.8
性・年代別	男性 20代	37	18.9	16.2	21.6	8.1	8.1	8.1	27.0	18.9	5.4	2.7	-	10.8	10.8
	男性 30代	53	24.5	5.7	22.6	9.4	9.4	9.4	30.2	7.5	1.9	5.7	-	22.6	11.3
	男性 40代	85	27.1	8.2	31.8	8.2	9.4	11.8	25.9	12.9	5.9	4.7	-	5.9	21.2
	男性 50代	117	17.1	10.3	29.1	3.4	7.7	17.9	27.4	12.8	3.4	2.6	0.9	6.8	23.9
	男性 60代	103	20.4	12.6	25.2	7.8	10.7	12.6	26.2	13.6	3.9	1.9	-	1.9	24.3
	男性 70代以上	137	24.1	11.7	32.1	3.6	4.4	8.0	20.4	4.4	0.7	-	0.7	1.5	37.2
	男性 年齢無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	女性 20代	61	16.4	4.9	29.5	1.6	3.3	4.9	29.5	13.1	1.6	3.3	1.6	14.8	14.8
	女性 30代	89	20.2	6.7	29.2	2.2	6.7	7.9	19.1	13.5	2.2	6.7	1.1	13.5	23.6
	女性 40代	93	24.7	7.5	46.2	2.2	8.6	15.1	23.7	12.9	6.5	3.2	-	5.4	10.8
	女性 50代	152	30.9	11.2	34.9	5.3	8.6	14.5	23.7	5.9	1.3	2.6	-	5.3	20.4
	女性 60代	122	18.9	14.8	32.0	7.4	9.0	6.6	25.4	4.1	2.5	3.3	1.6	4.1	35.2
	女性 70代以上	140	20.0	4.3	22.9	2.9	4.3	8.6	19.3	2.1	3.6	2.1	-	5.0	46.4
	女性 年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	43	9.3	2.3	14.0	-	11.6	7.0	14.0	4.7	-	2.3	-	-	62.8	
性・未婚別	未婚男性	55	23.6	10.9	32.7	9.1	10.9	9.1	25.5	14.5	5.5	3.6	-	7.3	14.5
	既婚男性（配偶者あり）	425	22.6	12.0	28.9	5.9	7.8	12.2	25.4	11.1	2.8	2.6	0.5	6.4	24.0
	既婚男性（配偶者なし）	43	16.3	-	16.3	4.7	7.0	14.0	27.9	4.7	4.7	-	-	4.7	37.2
	男性 未婚無回答	10	10.0	-	30.0	-	-	-	10.0	-	-	-	-	10.0	60.0
	未婚女性	89	18.0	7.9	31.5	3.4	4.5	7.9	23.6	14.6	4.5	2.2	2.2	16.9	16.9
	既婚女性（配偶者あり）	411	24.1	9.5	33.6	3.9	7.3	10.7	23.4	6.8	2.2	3.4	0.2	6.6	25.1
	既婚女性（配偶者なし）	147	22.4	7.5	29.3	4.8	8.2	8.8	22.4	5.4	4.1	3.4	0.7	2.7	37.4
女性 未婚無回答	10	10.0	-	20.0	-	-	20.0	10.0	-	-	10.0	-	-	60.0	
無回答	43	9.3	2.3	14.0	-	11.6	7.0	14.0	4.7	-	2.3	-	-	62.8	
同居家族別	1歳未満	36	22.2	2.8	30.6	2.8	8.3	8.3	30.6	5.6	2.8	2.8	-	8.3	25.0
	1歳～小学校入学前	148	24.3	8.1	29.1	4.7	8.1	6.8	28.4	8.8	2.0	6.1	0.7	9.5	20.3
	小学生	183	16.9	8.7	25.7	4.9	7.7	12.6	26.8	7.7	4.4	6.6	0.5	7.7	26.8
	中学生	115	16.5	9.6	32.2	5.2	8.7	14.8	28.7	7.8	5.2	3.5	-	6.1	27.8
	高校生・高等専修学校生	119	21.8	7.6	30.3	3.4	7.6	14.3	30.3	15.1	4.2	2.5	0.8	5.9	21.8
	短大生・大学生・専門学校生	104	22.1	8.7	30.8	7.7	4.8	12.5	23.1	12.5	3.8	2.9	1.0	3.8	24.0
	15歳～34歳の未婚の社会人	315	20.6	11.7	27.9	6.7	6.7	13.0	23.5	12.1	2.9	2.2	1.0	6.7	21.9
	65歳以上の方	682	20.1	8.5	28.9	4.5	6.5	9.8	23.5	6.9	2.9	1.9	0.4	4.1	33.3
	無回答	155	23.2	11.6	27.7	5.2	8.4	11.0	16.1	9.0	2.6	5.2	-	9.7	29.7
居住地別	佐賀市エリア	429	27.0	9.3	30.3	4.7	7.2	12.4	24.7	10.5	2.8	2.8	0.5	7.5	21.2
	唐津市エリア	295	17.6	8.5	32.5	5.1	8.5	8.5	21.0	6.4	3.1	2.0	1.0	4.4	33.6
	鳥栖市エリア	234	23.5	8.5	31.6	3.4	5.6	9.0	25.6	8.1	2.1	3.4	-	6.8	23.9
	武雄市エリア	240	17.1	10.8	25.4	5.4	8.8	12.1	25.4	8.3	3.3	3.3	0.4	7.5	31.7
	無回答	35	17.1	11.4	20.0	5.7	8.6	11.4	8.6	14.3	5.7	5.7	-	2.9	45.7
ネット別	インターネットに接続している	423	24.3	9.0	33.1	4.7	7.6	13.0	25.5	16.3	3.5	4.3	0.2	7.8	16.1
	インターネットに接続していない	640	21.3	9.4	29.8	4.2	7.3	10.0	23.6	4.5	2.0	1.9	0.8	5.9	31.6
	無回答	170	18.2	10.0	21.8	6.5	8.2	7.6	19.4	5.9	4.7	3.5	-	5.3	40.0

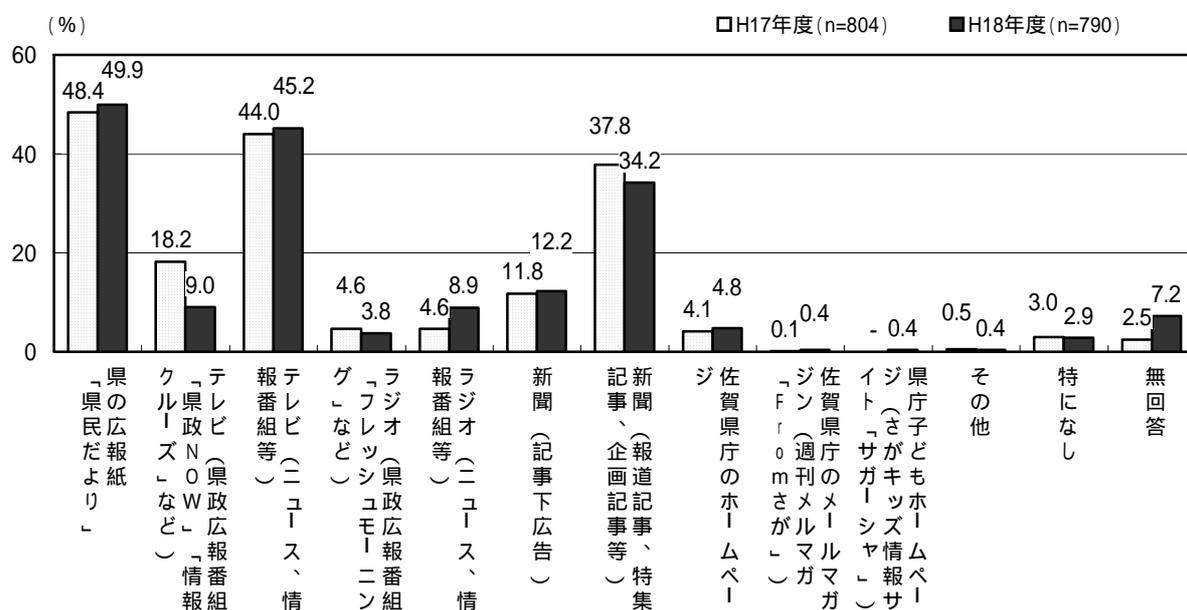
【時系列比較】

時系列でみると、県政情報を得ることが多い方法は、「ラジオ(ニュース、情報番組等)」が4.3ポイント上昇し、一方、「テレビ(県政広報番組)」が9.2ポイント、「新聞(報道記事、特集記事、企画記事等)」が3.6ポイント低下している。

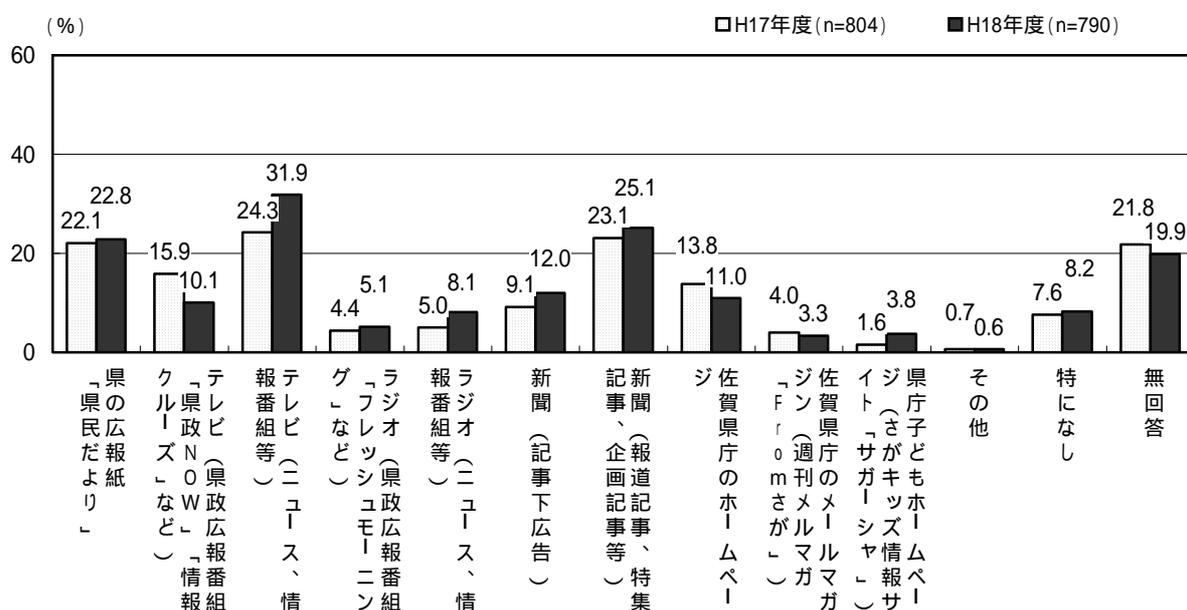
また、県政情報を得たい方法は、「テレビ(ニュース、情報番組等)」が7.6ポイント、「ラジオ(ニュース、情報番組等)」が3.1ポイント上昇し、一方、「テレビ(県政広報番組)」が5.8ポイント低下している。

図3 - 2 県政に関する各種情報の入手方法について【時系列比較】
(20～64歳)

情報を得ることが多い



情報を得たい

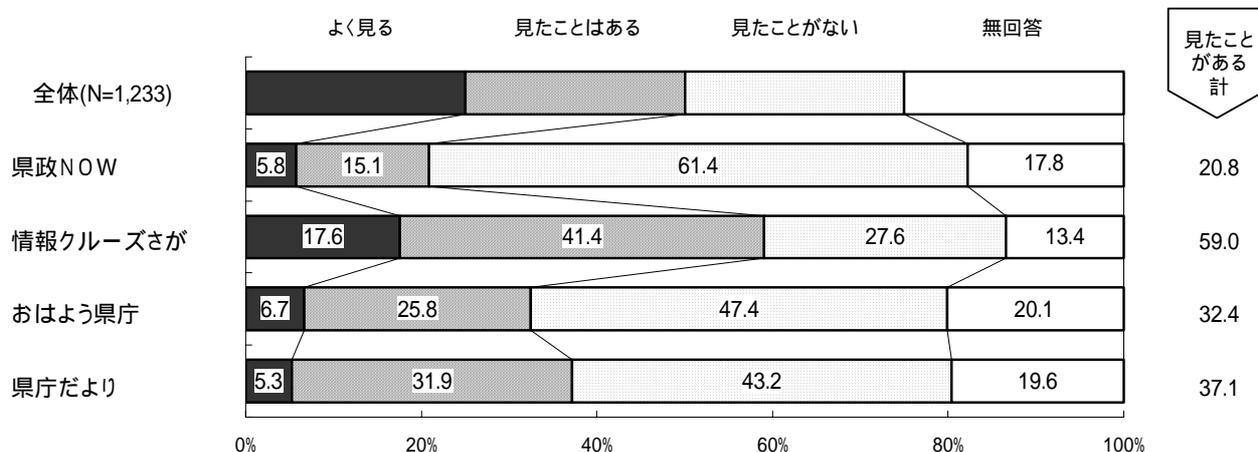


2. 県政広報番組の視聴状況

問 28 県では、県政情報をテレビの番組で放送しています。

次にあげる県政広報番組を見たことがありますか。(はそれぞれ1つだけ)

図 3 - 3 県政広報番組の視聴状況【全体】



(注) 【見たことがある計】= 「よく見る」、「見たことはある」の合計

県政広報番組を見たことがあるかどうか聞いたところ、「情報クルーズさが(STS 「かちかちワイド」 月曜日 午後 5:20~)」は「見たことがある計」が 59.0%と 6 割近くに達している。

一方、「県政NOW(ケーブルテレビ)」は 6 割以上が「見たことがない」と回答し、「おはよう県庁(STS 月・木曜日 朝 7:20~)」や「県庁だより(STS 日曜日 昼 11:45~)」も 4 割以上が「見たことがない」と回答している。

【属性別特徴】

性別にみると、「情報クルーズさが」は女性(64.7%)の方が男性(55.2%)より『見たことがある計』が高く、「県庁だより」は男性(40.5%)の方が女性(35.5%)より高くなっている。

年代別では、「県政NOW」は 60 代以上で『見たことがある計』がやや高くなっている。また、「情報クルーズさが」は女性の 20~60 代の幅広い年代で高くなっており、特に 60 代では 7 割を超えている。

居住地別にみると、ケーブルテレビの「県政NOW」を除き、「情報クルーズさが」、「おはよう県庁」、「県庁だより」は唐津市エリアと鳥栖市エリアで『見たことがある計』が低くなっている。

表3-2 県政広報番組の視聴状況

(数値:%)

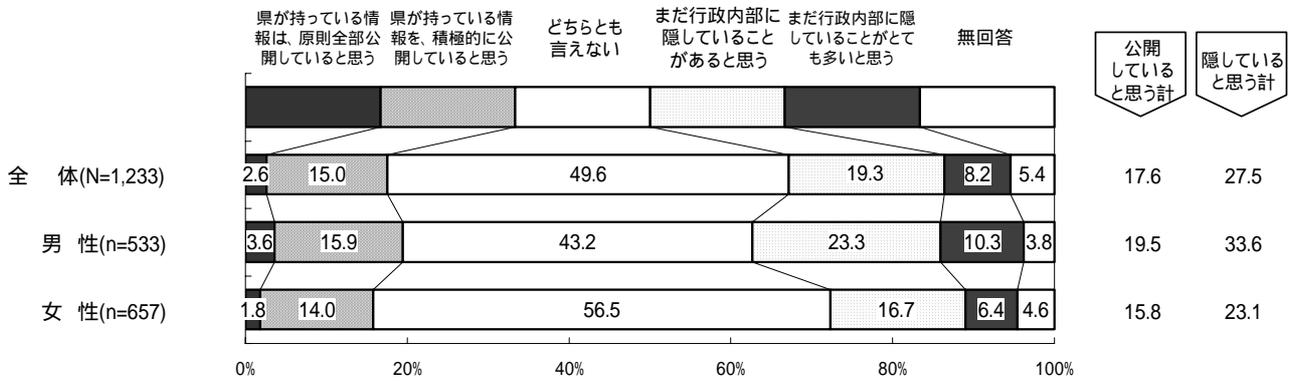
	サンプル数	県政NOW					情報クルーズが					おはよう県庁					県庁だより					
		よく見る	見たことはある	見たことがない	無回答	【見たことがある計】	よく見る	見たことはある	見たことがない	無回答	【見たことがある計】	よく見る	見たことはある	見たことがない	無回答	【見たことがある計】	よく見る	見たことはある	見たことがない	無回答	【見たことがある計】	
全体	1,233	5.8	15.1	61.4	17.8	20.8	17.6	41.4	27.6	13.4	59.0	6.7	25.8	47.4	20.1	32.4	5.3	31.9	43.2	19.6	37.1	
性別	男性	533	5.4	14.3	64.5	15.8	19.7	15.8	39.4	32.3	12.6	55.2	6.9	25.0	49.5	18.6	31.9	6.4	34.1	41.7	17.8	40.5
	女性	657	6.1	15.5	61.9	16.4	21.6	19.5	45.2	24.4	11.0	64.7	6.5	27.2	47.9	18.3	33.8	4.3	31.2	46.1	18.4	35.5
	無回答	43	4.7	18.6	14.0	62.8	23.3	11.6	9.3	18.6	60.5	20.9	4.7	14.0	14.0	67.4	18.6	7.0	14.0	18.6	60.5	20.9
性・年代別	男性 20代	37	2.7	10.8	78.4	8.1	13.5	8.1	48.6	37.8	5.4	56.8	2.7	21.6	67.6	8.1	24.3	2.7	40.5	51.4	5.4	43.2
	男性 30代	53	1.9	15.1	79.2	3.8	17.0	9.4	52.8	35.8	1.9	62.3	7.5	50.9	39.6	1.9	58.5	3.8	50.9	43.4	1.9	54.7
	男性 40代	85	1.2	15.3	75.3	8.2	16.5	8.2	50.6	36.5	4.7	58.8	5.9	27.1	58.8	8.2	32.9	4.7	44.7	47.1	3.5	49.4
	男性 50代	117	1.7	12.8	70.1	15.4	14.5	13.7	35.9	38.5	12.0	49.6	6.0	21.4	58.1	14.5	27.4	5.1	31.6	49.6	13.7	36.8
	男性 60代	103	2.9	17.5	68.0	11.7	20.4	23.3	43.7	26.2	6.8	67.0	4.9	25.2	54.4	15.5	30.1	6.8	36.9	43.7	12.6	43.7
	男性 70代以上	137	15.3	13.1	40.9	30.7	28.5	21.2	24.8	25.5	28.5	46.0	10.9	17.5	31.4	40.1	28.5	10.2	19.7	26.3	43.8	29.9
	男性 年齢無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	女性 20代	61	-	11.5	85.2	3.3	11.5	16.4	50.8	31.1	1.6	67.2	6.6	29.5	62.3	1.6	36.1	3.3	31.1	60.7	4.9	34.4
	女性 30代	89	-	12.4	80.9	6.7	12.4	10.1	58.4	30.3	1.1	68.5	6.7	38.2	51.7	3.4	44.9	2.2	39.3	53.9	4.5	41.6
	女性 40代	93	-	16.1	79.6	4.3	16.1	14.0	49.5	34.4	2.2	63.4	6.5	29.0	60.2	4.3	35.5	1.1	43.0	52.7	3.2	44.1
	女性 50代	152	7.9	11.8	67.8	12.5	19.7	20.4	48.0	23.7	7.9	68.4	8.6	31.6	47.4	12.5	40.1	6.6	29.6	50.0	13.8	36.2
	女性 60代	122	9.8	20.5	41.0	28.7	30.3	27.0	44.3	16.4	12.3	71.3	5.7	27.9	41.0	25.4	33.6	4.9	30.3	39.3	25.4	35.2
	女性 70代以上	140	11.4	18.6	40.0	30.0	30.0	22.9	29.3	18.6	29.3	52.1	5.0	12.9	37.9	44.3	17.9	5.0	20.7	32.1	42.1	25.7
	女性 年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	43	4.7	18.6	14.0	62.8	23.3	11.6	9.3	18.6	60.5	20.9	4.7	14.0	14.0	67.4	18.6	7.0	14.0	18.6	60.5	20.9	
性・未婚別	未婚男性	55	3.6	12.7	76.4	7.3	16.4	10.9	49.1	32.7	7.3	60.0	7.3	20.0	63.6	9.1	27.3	7.3	36.4	52.7	3.6	43.6
	既婚男性(配偶者あり)	425	4.9	13.6	65.9	15.5	18.6	17.2	38.6	32.5	11.8	55.8	7.1	26.6	48.5	17.9	33.6	6.8	34.6	40.9	17.6	41.4
	既婚男性(配偶者なし)	43	4.7	23.3	44.2	27.9	27.9	7.0	39.5	32.6	20.9	46.5	4.7	18.6	44.2	32.6	23.3	-	27.9	39.5	32.6	27.9
	男性 未婚無回答	10	40.0	10.0	30.0	20.0	50.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	10.0	10.0	40.0	40.0	20.0	10.0	30.0	20.0	40.0	40.0
	未婚女性	89	-	14.6	77.5	7.9	14.6	18.0	51.7	28.1	2.2	69.7	4.5	36.0	52.8	6.7	40.4	5.6	39.3	48.3	6.7	44.9
	既婚女性(配偶者あり)	411	5.8	15.6	64.7	13.9	21.4	19.0	46.5	24.6	10.0	65.5	7.3	27.0	49.9	15.8	34.3	3.6	31.9	47.9	16.5	35.5
	既婚女性(配偶者なし)	147	10.2	16.3	45.6	27.9	26.5	21.8	40.1	19.7	18.4	61.9	5.4	23.8	39.5	31.3	29.3	4.1	25.2	40.1	30.6	29.3
女性 未婚無回答	10	10.0	10.0	50.0	30.0	20.0	20.0	10.0	50.0	20.0	30.0	10.0	10.0	50.0	30.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	
無回答	43	4.7	18.6	14.0	62.8	23.3	11.6	9.3	18.6	60.5	20.9	4.7	14.0	14.0	67.4	18.6	7.0	14.0	18.6	60.5	20.9	
同居家族別	1歳未満	36	-	16.7	75.0	8.3	16.7	22.2	58.3	16.7	2.8	80.6	2.8	36.1	58.3	2.8	38.9	-	55.6	38.9	5.6	55.6
	1歳～小学校入学前	148	4.7	15.5	71.6	8.1	20.3	13.5	47.3	33.1	6.1	60.8	7.4	35.8	48.0	8.8	43.2	4.1	35.1	53.4	7.4	39.2
	小学生	183	1.6	14.8	71.0	12.6	16.4	15.3	45.9	31.1	7.7	61.2	6.6	29.5	50.3	13.7	36.1	3.8	34.4	47.5	14.2	38.3
	中学生	115	2.6	13.9	70.4	13.0	16.5	16.5	40.9	30.4	12.2	57.4	5.2	26.1	52.2	16.5	31.3	5.2	37.4	42.6	14.8	42.6
	高校生・高等専修学校生	119	5.0	12.6	73.1	9.2	17.6	20.2	43.7	27.7	8.4	63.9	5.9	28.6	55.5	10.1	34.5	4.2	43.7	41.2	10.9	47.9
	短大生・大学生・専門学校生	104	2.9	12.5	69.2	15.4	15.4	15.4	49.0	25.0	10.6	64.4	5.8	29.8	51.0	13.5	35.6	3.8	37.5	47.1	11.5	41.3
	15歳～34歳の未婚の社会人	315	4.4	14.9	68.6	12.1	19.4	18.7	46.7	27.3	7.3	65.4	7.9	30.5	47.3	14.3	38.4	5.7	33.3	46.7	14.3	39.0
	65歳以上の方	682	8.4	15.1	53.5	23.0	23.5	20.5	38.0	23.5	18.0	58.5	7.0	22.6	42.5	27.9	29.6	6.2	27.7	39.0	27.1	33.9
	無回答	155	3.2	15.5	63.9	17.4	18.7	13.5	34.8	35.5	16.1	48.4	7.7	23.9	52.9	15.5	31.6	3.2	32.9	47.1	16.8	36.1
居住地別	佐賀市エリア	429	4.9	11.2	67.6	16.3	16.1	16.1	44.5	28.4	11.0	60.6	8.6	27.5	47.1	16.8	36.1	6.8	35.2	42.4	15.6	42.0
	唐津市エリア	295	8.5	20.0	51.9	19.7	28.5	18.6	36.9	26.4	18.0	55.6	5.8	26.1	44.1	24.1	31.9	4.7	29.5	41.7	24.1	34.2
	鳥栖市エリア	234	4.7	8.1	74.4	12.8	12.8	17.5	42.3	31.6	8.5	59.8	5.6	21.4	58.1	15.0	26.9	3.0	24.4	55.6	17.1	27.4
	武雄市エリア	240	5.4	22.1	52.9	19.6	27.5	19.6	42.1	24.6	13.8	61.7	4.6	27.5	44.2	23.8	32.1	5.4	37.1	36.7	20.8	42.5
	無回答	35	2.9	20.0	37.1	40.0	22.9	14.3	31.4	20.0	34.3	45.7	11.4	20.0	31.4	37.1	31.4	5.7	25.7	28.6	40.0	31.4

(注)【見たことがある計】=「よく見る」、「見たことはある」の合計

3. 県の情報公開・情報提供の取組に対する評価

問 29 最近の佐賀県の情報公開・情報提供の取組は積極的だと思いますか。(は1つだけ)

図3-4 県の情報公開・情報提供の取組に対する評価【全体、性別】



(注) 【公開していると思う計】=「県が持っている情報は、原則全部公開していると思う」、「県が持っている情報は、積極的に公開していると思う」の合計

【隠していると思う計】=「まだ行政内部に隠していることがあると思う」、「まだ行政内部に隠していることがとても多いと思う」の合計

最近の佐賀県の情報公開・情報提供の取組は積極的だと思うか聞いたところ、「どちらとも言えない」が49.6%で最も高くなっているが、『隠していることがあると思う計』が27.5%と、『公開していると思う計』の17.6%を9.9ポイント上回っている。

【属性別特徴】

性別では、男性(33.6%)の方が女性(23.1%)より『隠していると思う計』が高く、『隠していると思う計』と『公開していると思う計』の差は、男性は14.1ポイントと女性の7.3ポイントを大きく上回っている。

年代別にみると、『公開していると思う計』は男女とも70代以上(各26.3%、21.4%)が最も高く、『隠していると思う計』は特に男性40代で4割台と高くなっている。

居住地別にみると、佐賀市エリアと唐津市エリアで『隠していると思う計』が『公開していると思う計』を10ポイント以上上回っている。

表3 - 3 県の情報公開・情報提供の取組に対する評価

(数値:%)

		サンプル数	「県が持っている情報は、原則全部公開していると思う」と思う計	「県が持っている情報は、積極的に公開していると思う」と思う計	「どちらとも言えない」と思う計	「まだ行政内部に隠していることがあると思う」と思う計	「まだ行政内部に隠していることがとても多いと思う」と思う計	無回答	「公開していると思う」計	「隠していることがある」と思う計
全体		1,233	2.6	15.0	49.6	19.3	8.2	5.4	17.6	27.5
性別	男性	533	3.6	15.9	43.2	23.3	10.3	3.8	19.5	33.6
	女性	657	1.8	14.0	56.5	16.7	6.4	4.6	15.8	23.1
	無回答	43	2.3	18.6	23.3	9.3	9.3	37.2	20.9	18.6
性・年代別	男性 20代	37	2.7	16.2	48.6	21.6	10.8	-	18.9	32.4
	男性 30代	53	-	7.5	49.1	24.5	18.9	-	7.5	43.4
	男性 40代	85	1.2	21.2	43.5	27.1	5.9	1.2	22.4	32.9
	男性 50代	117	2.6	15.4	41.0	22.2	12.8	6.0	17.9	35.0
	男性 60代	103	1.0	15.5	42.7	26.2	10.7	3.9	16.5	36.9
	男性 70代以上	137	9.5	16.8	41.6	19.7	6.6	5.8	26.3	26.3
	男性 年齢無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0
	女性 20代	61	3.3	11.5	50.8	24.6	9.8	-	14.8	34.4
	女性 30代	89	-	13.5	66.3	14.6	4.5	1.1	13.5	19.1
	女性 40代	93	2.2	8.6	54.8	19.4	14.0	1.1	10.8	33.3
	女性 50代	152	0.7	12.5	57.9	18.4	6.6	3.9	13.2	25.0
	女性 60代	122	0.8	18.0	50.8	17.2	4.9	8.2	18.9	22.1
	女性 70代以上	140	4.3	17.1	57.1	10.7	2.1	8.6	21.4	12.9
	女性 年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 無回答	43	2.3	18.6	23.3	9.3	9.3	37.2	20.9	18.6	
性・未婚別	未婚男性	55	1.8	16.4	40.0	27.3	10.9	3.6	18.2	38.2
	既婚男性(配偶者あり)	425	4.2	15.5	43.8	23.1	10.1	3.3	19.8	33.2
	既婚男性(配偶者なし)	43	-	16.3	44.2	25.6	7.0	7.0	16.3	32.6
	男性 未婚無回答	10	-	30.0	30.0	-	30.0	10.0	30.0	30.0
	未婚女性	89	-	10.1	64.0	16.9	6.7	2.2	10.1	23.6
	既婚女性(配偶者あり)	411	1.9	16.3	53.3	18.2	6.6	3.6	18.2	24.8
	既婚女性(配偶者なし)	147	2.7	9.5	60.5	12.9	6.1	8.2	12.2	19.0
	女性 未婚無回答	10	-	20.0	60.0	10.0	-	10.0	20.0	10.0
無回答	43	2.3	18.6	23.3	9.3	9.3	37.2	20.9	18.6	
同居家族別	1歳未満	36	-	11.1	52.8	33.3	2.8	-	11.1	36.1
	1歳～小学校入学前	148	1.4	13.5	55.4	18.9	9.5	1.4	14.9	28.4
	小学生	183	1.6	15.8	54.1	18.0	8.2	2.2	17.5	26.2
	中学生	115	2.6	17.4	51.3	20.9	6.1	1.7	20.0	27.0
	高校生・高等専修学校生	119	2.5	15.1	51.3	20.2	7.6	3.4	17.6	27.7
	短大生・大学生・専門学校生	104	-	19.2	43.3	26.0	7.7	3.8	19.2	33.7
	15歳～34歳の未婚の社会人	315	2.2	14.6	50.2	21.0	9.8	2.2	16.8	30.8
	65歳以上の方	682	3.4	15.8	49.9	18.6	6.3	6.0	19.2	24.9
無回答	155	1.3	12.3	51.0	16.8	7.1	11.6	13.5	23.9	
居住地別	佐賀市エリア	429	2.8	17.2	45.0	21.7	8.9	4.4	20.0	30.5
	唐津市エリア	295	2.0	10.8	58.0	16.6	6.8	5.8	12.9	23.4
	鳥栖市エリア	234	3.8	14.1	51.7	17.9	8.1	4.3	17.9	26.1
	武雄市エリア	240	2.1	17.9	47.1	20.0	7.9	5.0	20.0	27.9
	無回答	35	-	8.6	37.1	17.1	14.3	22.9	8.6	31.4

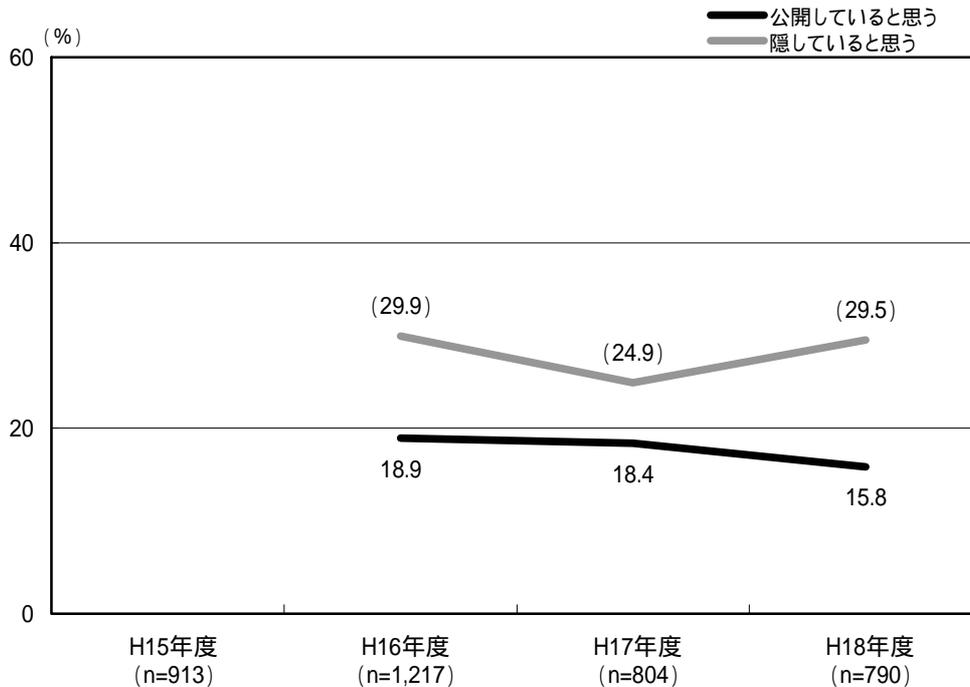
(注)【公開していると思う計】 = 「県が持っている情報は、原則全部公開していると思う」、「県が持っている情報を、積極的に公開していると思う」の合計

【隠していることがあると思う計】 = 「まだ行政内部に隠していることがあると思う」、「まだ行政内部に隠していることがとても多いと思う」の合計

【時系列比較】

時系列でみると、『公開していると思う計』は昨年度より 2.6 ポイント上昇し、一方、『隠していると思う計』は 4.6 ポイント低下している。

図 3 - 5 県の情報公開・情報提供の取組に対する評価【時系列比較】
(20～64 歳)



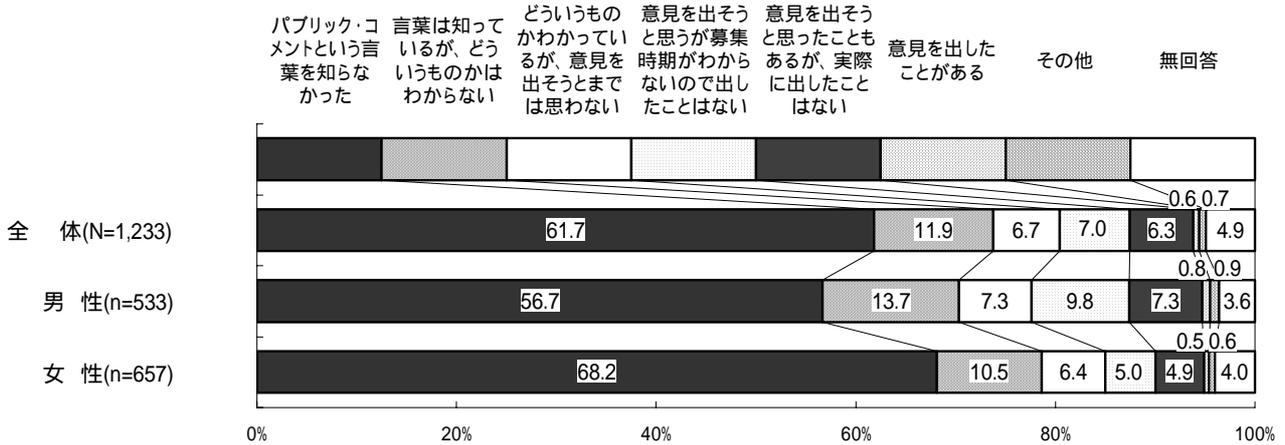
(注) 【公開していると思う 計】=「県が持っている情報は、原則全部公開していると思う」、「県が持っている情報は、積極的に公開していると思う」の合計

【隠していると思う 計】=「まだ行政内部に隠していることがあると思う」、「まだ行政内部に隠していることがとても多いと思う」の合計

4. 「パブリック・コメント手続」の認知・意見提出状況

問 30 県では、計画を策定する場合、その素案を公表して、県民の皆さまからのご意見を募集する「パブリック・コメント手続（県民意見提出手続）制度」を実施しています。
このパブリック・コメント手続という言葉をごぞんじですか、また、県にご意見を提出しようと思ったことはありますか。（ は1つだけ）

図3 - 6 「パブリック・コメント手続」の認知・意見提出状況【全体、性別】



パブリック・コメント手続（県民意見提出手続）という言葉を知っているか、また、知っている場合、県に意見を提出しようと思ったことがあるかどうか聞いたところ、「パブリック・コメントという言葉を知らなかった」が 61.7%と最も高くなっている。次いで「言葉は知っているが、どういうものかわからない」(11.9%)となっており、パブリック・コメントがどういうものかわかっている人は2割程度にとどまっている。

【属性別特徴】

性別にみると、女性の方が「言葉を知らなかった」が高く、年代では、男性 20 代、女性 30～50 代で「言葉を知らなかった」が約 7 割に上っている。

居住地別では、鳥栖市・武雄市・唐津市エリアで「言葉を知らなかった」が高くなっている。

表3 - 4 「パブリック・コメント手続」の認知・意見提出状況

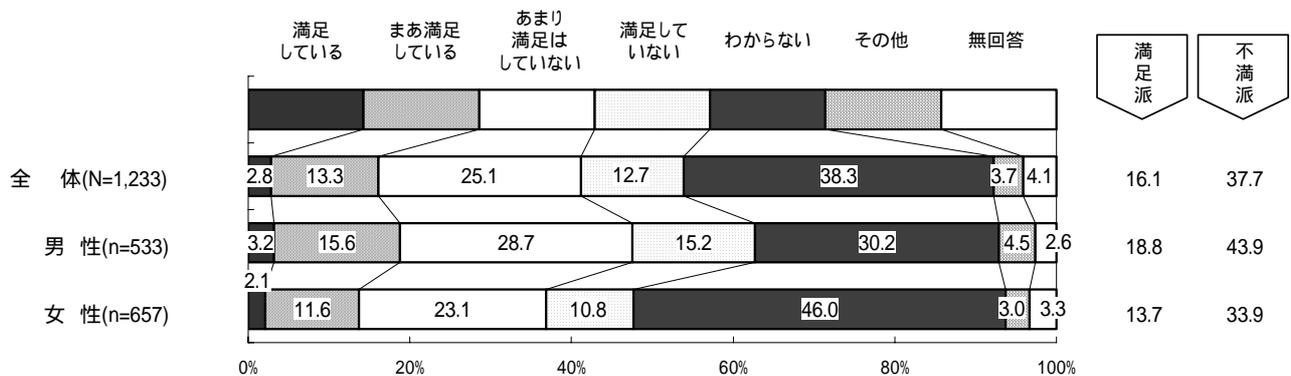
(数値:%)

		サンプル数	か つ た 言 葉 を 知 ら な い	パ ブ リ ッ ク ・ コ メ ン ト	ら な い 知 つ て い る が、 わ か ら な い	言 葉 は 知 つ て い る が、 思 わ な い	ど う い う も の か わ か つ て い る が、 思 わ な い	ど う い う も の か わ か つ て い る が、 思 わ な い	募 集 時 期 が わ か ら な い	意 見 を 出 す こ と は な い	出 し た こ と は な い	こ と も あ る が、 実 際 に	意 見 を 出 し た こ と が あ る	そ の 他	無 回 答	
全 体		1,233	61.7	11.9	6.7	7.0	6.3	0.6	0.7	4.9						
性別	男性	533	56.7	13.7	7.3	9.8	7.3	0.8	0.9	3.6						
	女性	657	68.2	10.5	6.4	5.0	4.9	0.5	0.6	4.0						
	無回答	43	25.6	11.6	4.7	2.3	16.3	2.3	-	37.2						
性・ 年 代 別	男性 20代	37	70.3	10.8	8.1	8.1	-	-	2.7	-						
	男性 30代	53	50.9	18.9	7.5	18.9	3.8	-	-	-						
	男性 40代	85	62.4	14.1	8.2	5.9	4.7	2.4	2.4	-						
	男性 50代	117	53.8	11.1	7.7	12.8	7.7	-	1.7	5.1						
	男性 60代	103	54.4	13.6	8.7	8.7	12.6	-	-	1.9						
	男性 70代以上	137	55.5	14.6	5.1	7.3	8.0	1.5	-	8.0						
	男性 年齢無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-					
	女性 20代	61	68.9	8.2	9.8	6.6	6.6	-	-	-	-					
	女性 30代	89	73.0	9.0	7.9	4.5	4.5	1.1	-	-	-					
	女性 40代	93	69.9	11.8	6.5	3.2	6.5	-	1.1	1.1						
	女性 50代	152	71.1	9.2	3.9	6.6	3.3	-	0.7	5.3						
	女性 60代	122	62.3	13.9	10.7	4.1	4.1	0.8	0.8	3.3						
	女性 70代以上	140	65.7	10.0	2.9	5.0	5.7	0.7	0.7	9.3						
	女性 年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無回答	43	25.6	11.6	4.7	2.3	16.3	2.3	-	37.2							
性・ 未 既 婚 別	未婚男性	55	63.6	16.4	7.3	7.3	1.8	-	1.8	1.8						
	既婚男性(配偶者あり)	425	55.1	14.1	7.8	10.8	7.8	0.7	0.9	2.8						
	既婚男性(配偶者なし)	43	67.4	9.3	2.3	4.7	7.0	2.3	-	7.0						
	男性 未既婚無回答	10	40.0	-	10.0	-	20.0	-	-	30.0						
	未婚女性	89	70.8	10.1	3.4	7.9	5.6	-	-	2.2						
	既婚女性(配偶者あり)	411	69.8	9.0	7.3	3.6	5.6	0.5	0.7	3.4						
	既婚女性(配偶者なし)	147	64.6	14.3	5.4	6.1	2.7	0.7	-	6.1						
女性 未既婚無回答	10	30.0	20.0	10.0	20.0	-	-	10.0	10.0							
無回答	43	25.6	11.6	4.7	2.3	16.3	2.3	-	37.2							
同 居 家 族 別	1歳未満	36	61.1	8.3	8.3	19.4	2.8	-	-	-						
	1歳～小学校入学前	148	71.6	6.1	8.1	9.5	2.7	-	0.7	1.4						
	小学生	183	62.3	10.4	9.8	5.5	7.7	1.1	1.1	2.2						
	中学生	115	68.7	8.7	6.1	4.3	6.1	1.7	0.9	3.5						
	高校生・高等専修学校生	119	72.3	9.2	4.2	5.0	5.0	-	-	4.2						
	短大生・大学生・専門学校生	104	65.4	10.6	8.7	4.8	6.7	-	1.9	1.9						
	15歳～34歳の未婚の社会人	315	66.0	13.3	5.4	6.0	6.0	-	0.3	2.9						
	65歳以上の方	682	62.5	12.5	4.8	5.6	7.3	0.7	0.7	5.9						
	無回答	155	52.9	11.0	11.6	8.4	5.8	1.3	0.6	8.4						
居 住 地 別	佐賀市エリア	429	55.7	13.1	7.7	8.4	9.8	0.7	0.7	4.0						
	唐津市エリア	295	64.1	12.2	5.4	6.8	4.4	0.3	1.4	5.4						
	鳥栖市エリア	234	66.7	10.7	6.8	7.3	3.4	1.3	-	3.8						
	武雄市エリア	240	65.8	11.7	7.1	4.6	5.0	0.4	0.8	4.6						
	無回答	35	54.3	5.7	2.9	5.7	8.6	-	-	22.9						

5. 県職員の印象

問 31 県では、「オープン」「現場」「県民協働」を掲げ、県職員は常に県民の目線・立場で考え、行動し、県民主役の県政を実現するために行動することを目指しています。
最近の県職員について、あなたはどのように感じますか。(は1つだけ)

図3-7 県職員の印象【全体、性別】



(注) 【満足派】=「満足している」、「まあ満足している」の合計
【不満派】=「満足していない」、「あまり満足はしていない」の合計

最近の県職員についてどのように感じるか聞いたところ、「わからない」という『判断保留派』が38.3%で最も高くなっている。

また、「満足している」は2.8%、「まあ満足している」は13.3%で、これらをあわせた『満足派』は16.1%となっている。一方、「満足していない」は12.7%、「あまり満足はしていない」は25.1%で、これらをあわせた『不満派』は37.7%となっており、『満足派』を21.6ポイント上回っている。

【属性別特徴】

性別にみると、男性の方が『満足派』『不満派』ともに高く、女性は『判断保留派』が高くなっており、年代別では、『満足派』は70代以上、『不満派』は40代が最も高くなっている。

居住地別にみると、佐賀市エリアで『不満派』が4割以上と他のエリアに比べて高くなっている。

佐賀県でのくらしの総合満足度別にみると、くらし満足派は『満足派』が20.6%と高く、くらし不満派は『不満派』が53.6%と非常に高くなっている。

表 3 - 5 県職員の印象

(数値:%)

		サンプル数	県民の声を聞き意見を反映する行動をとっている	そのようなことを感じることがあり、まあ満足している	そのようなことを感じるが、あまり満足はしていない	県民の方の声を聴こうとせず、満足していません	わからない	その他	無回答	【満足派】	【不満派】
全 体		1,233	2.8	13.3	25.1	12.7	38.3	3.7	4.1	16.1	37.7
性別	男性	533	3.2	15.6	28.7	15.2	30.2	4.5	2.6	18.8	43.9
	女性	657	2.1	11.6	23.1	10.8	46.0	3.0	3.3	13.7	33.9
	無回答	43	9.3	11.6	9.3	9.3	20.9	4.7	34.9	20.9	18.6
性・年代別	男性 20代	37	-	8.1	32.4	16.2	35.1	8.1	-	8.1	48.6
	男性 30代	53	-	7.5	24.5	18.9	39.6	9.4	-	7.5	43.4
	男性 40代	85	3.5	8.2	37.6	18.8	28.2	3.5	-	11.8	56.5
	男性 50代	117	2.6	12.8	29.9	14.5	31.6	3.4	5.1	15.4	44.4
	男性 60代	103	1.9	13.6	33.0	17.5	25.2	6.8	1.9	15.5	50.5
	男性 70代以上	137	6.6	29.2	19.7	10.2	28.5	1.5	4.4	35.8	29.9
	男性 年齢無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	女性 20代	61	1.6	11.5	19.7	13.1	54.1	-	-	13.1	32.8
	女性 30代	89	4.5	7.9	20.2	12.4	47.2	7.9	-	12.4	32.6
	女性 40代	93	2.2	5.4	32.3	14.0	43.0	2.2	1.1	7.5	46.2
	女性 50代	152	1.3	9.9	23.7	10.5	46.7	3.9	3.9	11.2	34.2
	女性 60代	122	2.5	13.1	25.4	12.3	39.3	2.5	4.9	15.6	37.7
	女性 70代以上	140	1.4	18.6	17.9	5.7	48.6	1.4	6.4	20.0	23.6
	女性 年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	43	9.3	11.6	9.3	9.3	20.9	4.7	34.9	20.9	18.6	
居住地別	佐賀市エリア	429	3.3	13.8	30.5	14.2	31.9	3.5	2.8	17.0	44.8
	唐津市エリア	295	2.4	12.2	20.0	13.9	43.4	3.1	5.1	14.6	33.9
	鳥栖市エリア	234	2.1	13.2	21.4	10.7	46.2	2.6	3.8	15.4	32.1
	武雄市エリア	240	3.3	15.0	25.8	10.4	37.1	5.4	2.9	18.3	36.3
	無回答	35	2.9	5.7	20.0	11.4	28.6	8.6	22.9	8.6	31.4
くらしの総合満足度別	【満足派】	797	3.6	16.9	25.1	8.3	38.8	2.8	4.5	20.6	33.4
	満足している	146	9.6	23.3	15.8	6.2	34.2	2.7	8.2	32.9	21.9
	まあ満足している	651	2.3	15.5	27.2	8.8	39.8	2.8	3.7	17.8	35.9
	どちらともいえない	242	1.2	6.6	26.0	14.9	41.7	6.6	2.9	7.9	40.9
	【不満派】	179	1.7	5.6	25.1	28.5	32.4	3.9	2.8	7.3	53.6
	あまり満足していない	149	1.3	6.0	27.5	25.5	32.9	3.4	3.4	7.4	53.0
	満足していない	30	3.3	3.3	13.3	43.3	30.0	6.7	-	6.7	56.7
無回答	15	-	20.0	6.7	20.0	26.7	6.7	20.0	20.0	26.7	

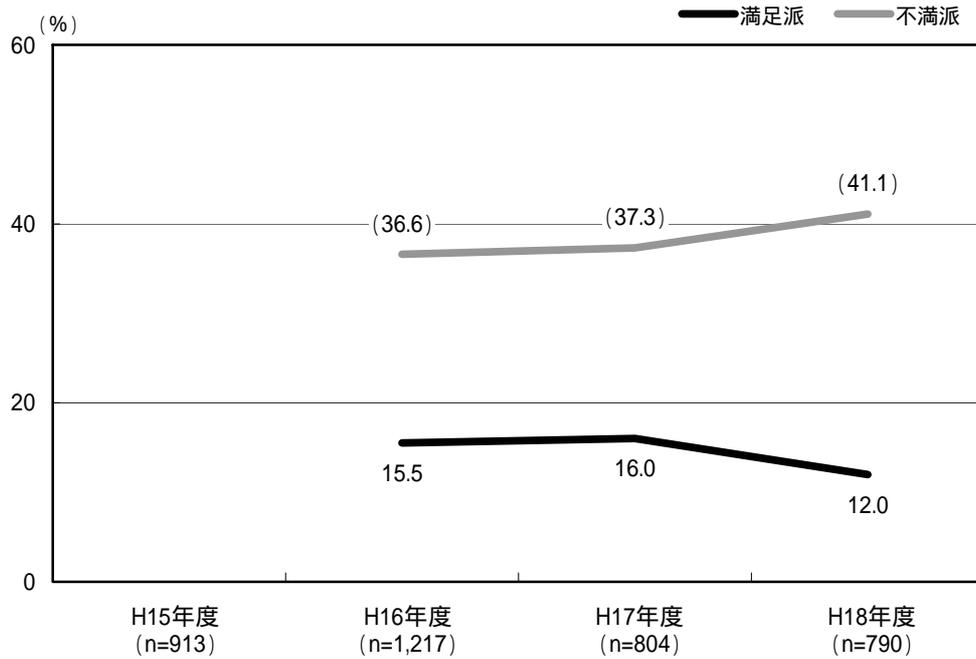
(注) 【満足派】 = 「県民の声を聞き意見を反映する行動をとって満足している」、「そのようなことを感じることもあり、まあ満足している」の合計

【不満派】 = 「そのようなことを感じることもあるが、あまり満足はしていない」、「県民の方の声を聴こうとせず、満足していない」の合計

【時系列比較】

時系列でみると、前回調査ではほとんど変化がなかったが、今回は『不満派』が上昇して、『満足派』が低下したため、『不満派』と『満足派』の差は21.3ポイントから29.1ポイントに広がった。

図3 - 8 県職員の印象【時系列比較】
(20～64歳)



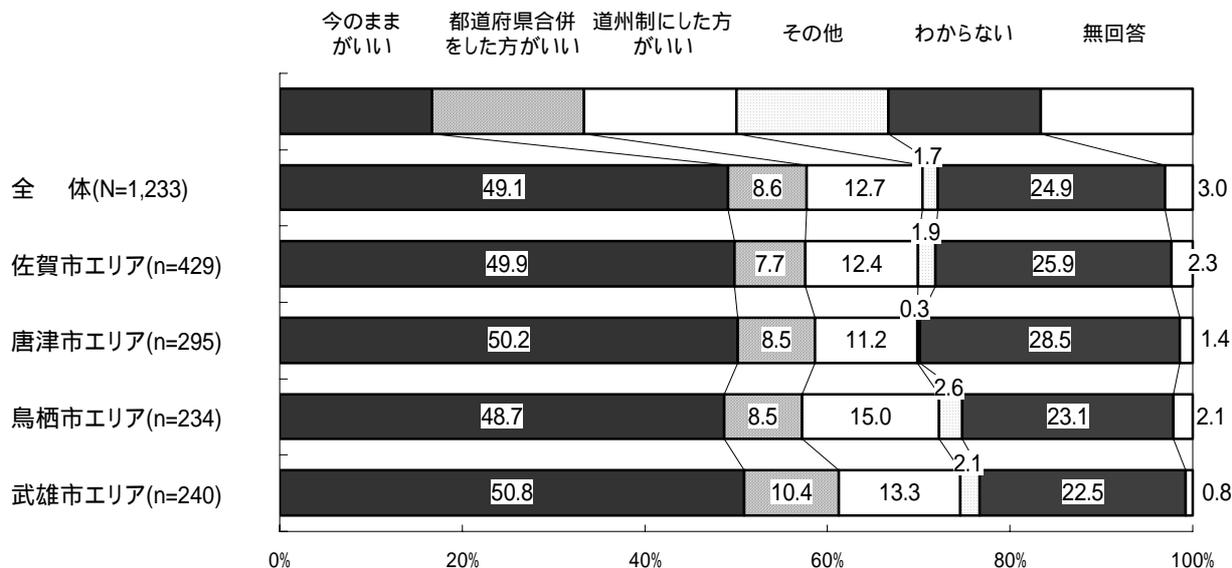
(注) 【満足派】=「満足している」、「まあ満足している」の合計
【不満派】=「満足していない」、「あまり満足していない」の合計

6. 都道府県のあり方

問 32 市町村合併が進み、より広域的な枠組みができると、次は都道府県のあり方についての議論が本格的になると考えられます。

次の中から、あなたの考えに近いものをお選びください。(は1つだけ)

図3-9 都道府県のあり方【全体、居住地別】



都道府県のあり方についての考えを聞いたところ、「今のままがいい」が49.1%で最も高くなっている。以下、「わからない」(24.9%)、「道州制にした方がいい」(12.7%)、「都道府県合併をした方がいい」(8.6%)の順となっている。

【属性別特徴】

性別にみると、女性は「今のままがいい」と「わからない」が高いのに対し、男性は「道州制にした方がいい」と「都道府県合併をした方がいい」が高くなっている。

居住地別にみると、「都道府県合併をした方がいい」は武雄市エリア(10.4%)が、「道州制にした方がいい」は鳥栖市エリア(15.0%)が最も高くなっている。

佐賀県への愛着度別にみると、「今のままがいい」は『愛着を感じる派』が、「道州制にした方がいい」は『愛着を感じない派』が高くなっている。

表3 - 6 都道府県のあり方

(数値:%)

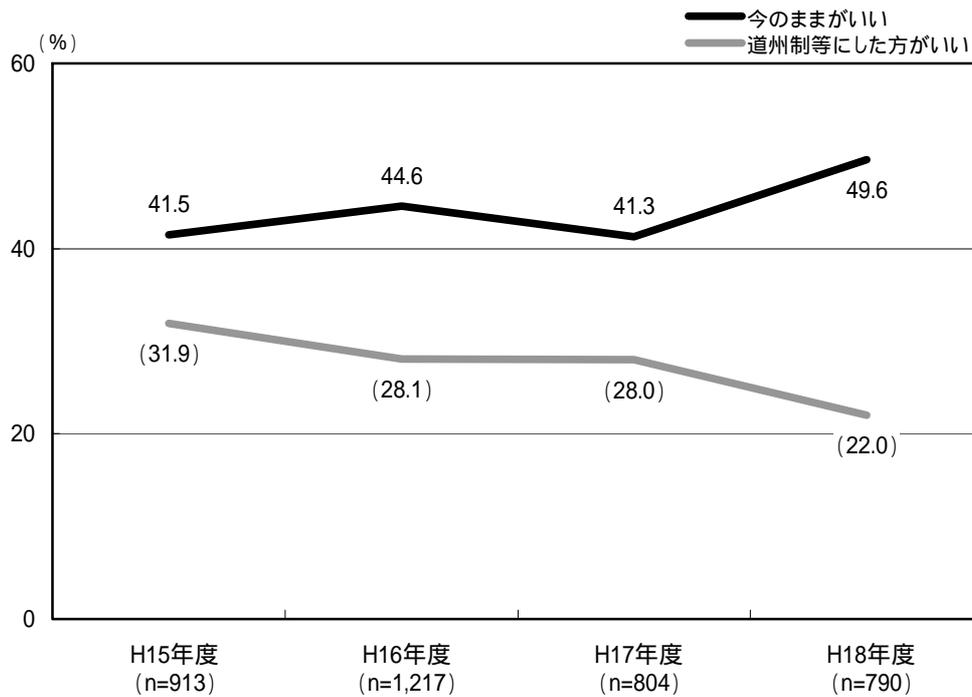
		サンプル数	今のままだいい	が都道府県合併をした方がいい	道州制にした方がいい	その他	わからない	無回答
全 体		1,233	49.1	8.6	12.7	1.7	24.9	3.0
性別	男性	533	43.9	12.0	22.1	2.1	18.8	1.1
	女性	657	54.5	6.2	5.5	1.4	30.1	2.3
	無回答	43	32.6	2.3	4.7	2.3	20.9	37.2
性・年代別	男性 20代	37	37.8	18.9	13.5	8.1	21.6	-
	男性 30代	53	45.3	11.3	22.6	1.9	18.9	-
	男性 40代	85	54.1	8.2	20.0	2.4	12.9	2.4
	男性 50代	117	44.4	7.7	29.1	0.9	17.9	-
	男性 60代	103	39.8	14.6	28.2	1.9	14.6	1.0
	男性 70代以上	137	41.6	14.6	15.3	0.7	25.5	2.2
	男性 年齢無回答	1	-	-	-	100.0	-	-
	女性 20代	61	50.8	8.2	8.2	-	32.8	-
	女性 30代	89	49.4	9.0	6.7	1.1	32.6	1.1
	女性 40代	93	55.9	1.1	7.5	-	33.3	2.2
	女性 50代	152	50.0	5.9	5.3	4.6	30.3	3.9
	女性 60代	122	59.8	7.4	5.7	0.8	23.8	2.5
	女性 70代以上	140	58.6	6.4	2.1	-	30.7	2.1
	女性 年齢無回答	-	-	-	-	-	-	-
無回答	43	32.6	2.3	4.7	2.3	20.9	37.2	
性・未既婚別	未婚男性	55	38.2	12.7	16.4	7.3	21.8	3.6
	既婚男性(配偶者あり)	425	45.6	12.5	24.5	1.2	15.8	0.5
	既婚男性(配偶者なし)	43	39.5	7.0	9.3	2.3	41.9	-
	男性 未既婚無回答	10	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	20.0
	未婚女性	89	49.4	3.4	7.9	-	37.1	2.2
	既婚女性(配偶者あり)	411	57.2	6.6	6.6	1.2	26.8	1.7
	既婚女性(配偶者なし)	147	49.0	7.5	1.4	2.7	35.4	4.1
	女性 未既婚無回答	10	70.0	-	-	-	30.0	-
無回答	43	32.6	2.3	4.7	2.3	20.9	37.2	
同居家族別	1歳未満	36	44.4	8.3	11.1	-	36.1	-
	1歳～小学校入学前	148	54.1	8.1	11.5	2.0	24.3	-
	小学生	183	54.1	8.7	9.3	2.7	24.0	1.1
	中学生	115	53.0	8.7	7.8	3.5	26.1	0.9
	高校生・高等専修学校生	119	56.3	8.4	5.9	0.8	27.7	0.8
	短大生・大学生・専門学校生	104	49.0	11.5	17.3	2.9	17.3	1.9
	15歳～34歳の未婚の社会人	315	51.7	7.0	11.7	1.9	26.3	1.3
	65歳以上の方	682	52.2	9.8	11.1	1.0	23.5	2.3
無回答	155	43.9	3.9	14.8	3.2	23.9	10.3	
居住地別	佐賀市エリア	429	49.9	7.7	12.4	1.9	25.9	2.3
	唐津市エリア	295	50.2	8.5	11.2	0.3	28.5	1.4
	鳥栖市エリア	234	48.7	8.5	15.0	2.6	23.1	2.1
	武雄市エリア	240	50.8	10.4	13.3	2.1	22.5	0.8
	無回答	35	22.9	8.6	8.6	2.9	11.4	45.7
佐賀県への愛着度別	【愛着を感じる派】	1,016	52.6	8.3	11.5	2.0	22.5	3.1
	愛着を感じる	625	56.5	6.9	12.0	2.4	19.7	2.6
	まあ愛着を感じる	391	46.3	10.5	10.7	1.3	27.1	4.1
	どちらともいえない	126	28.6	11.1	19.8	0.8	37.3	2.4
	【愛着を感じない派】	73	38.4	9.6	16.4	-	34.2	1.4
	あまり愛着を感じない	56	42.9	12.5	12.5	-	30.4	1.8
	愛着を感じない	17	23.5	-	29.4	-	47.1	-
	無回答	18	44.4	5.6	11.1	-	33.3	5.6

【時系列比較】

時系列でみると、「今のままがいい」は昨年度やや低下したが、今年度は 8.3 ポイント上昇し、一方、「道州制にした方がいい」と「都道府県合併をした方がいい」をあわせた「道州制等にした方がいい」は 6.0 ポイント低下している。

図 3 - 10 都道府県のあり方について【時系列比較】

(20～64 歳)



(注) 【道州制等にした方がいい】=「道州制にした方がいい」、「都道府県合併をした方がいい」の合計

第4章

県政に対する提案・意見

～ 第4章 県政に対する提案・意見 ～

表4-1 県政に対する提案・意見【自由記述集計結果】

(単位:件)	
1 福祉・保健・医療	55
(1) 子育て支援・少子化対策・小児医療について	25
(2) 高齢者の福祉・医療について	9
(3) 障害者福祉について	5
(4) 福祉について	7
(5) 医療・健康づくりについて	7
(6) 県病院について	2
2 教育・文化・スポーツ	28
(1) 学校教育について	18
(2) 社会教育・文化について	5
(3) スポーツについて	5
3 交通基盤・社会基盤整備・情報化	81
(1) 九州新幹線西九州ルートについて	45
(2) 道路について	18
(3) 有明佐賀空港について	5
(4) 公共交通機関について	4
(5) 上下水道について	2
(6) 公共工事について	7
4 安全・環境	53
(1) 交通安全について	8
(2) 防犯について	2
(3) 原子力発電・プルサーマルについて	34
(4) 新エネルギー・環境保全について	9
5 産業	27
(1) 大型店出店規制・中心市街地再生について	10
(2) 特産品・観光について	9
(3) 農林水産業について	4
(4) 企業誘致について	4
6 雇用・労働	20
(1) 雇用について	14
(2) 労働時間・賃金について	6
7 県政その他	216
(1) よりよい佐賀県づくりについて	53
(2) 広報について	11
(3) 公共施設について	3
(4) 国際交流について	3
(5) 市町村合併について	6
(6) 税金について	4
(7) 県政のあり方について	51
(8) 不祥事について	6
(9) 知事について	16
(10) 職員について	26
(11) 県議会について	12
(12) 本調査について	25

具体的な内容は次ページ以降に掲載（一部抜粋して掲載しているものもあります。）

1 福祉・保健・医療

(1) 子育て支援・少子化対策・小児医療について

少子化対策を県民が実感できるようにしてもらいたい。(20代男性)

子育て支援に関し、果して子どもの権利は確立しているのかどうか疑問である。母親支援にばかり力を入れ子どもは置き去りにされている様な状態が見えてくる。企業に対し、父親母親が子どもとかかわる日を提案したらどうだろうか。特に人格形成に一番大切な0~2歳児をもつ家庭に対し必要ではないか。育児休暇の導入、取り入れた企業を奨励し、そこに何らかの制度をつくる。給食費滞納、保育料滞納について、県としての方針はどのようになっているのか。子育て支援に対し甘んじし過ぎて女性がが増えてきている事も問題ではないかと思う。(50代女性)

私立幼稚園で働いてますが、障害者やADHDの子など、一人担任で5,6人受け持っていたりしますが、それに対しての市や県の援助がまったくないのはいかがなものでしょうか？現状をわかっているのでしょうか？公立との差があまりにもありすぎるのでは？公立に入れてもらえず、私立に来た方もいらっしやいますし…そのところを考えてもらいたい。(20代男性)

特に最近は親子の関係がマスコミに報道されているので、まずPTAを主体とした親子のコミュニケーションがしっかり出来る様な対策をお願いしたい。私も70才になりますが四代家庭を経験し、PTAの会長も経験しています。どうか県としてよろしくとりこんで下さい。以上(60代男性)

私は二児の母ですが、下の子(2才半)がぜんそく持ちで、よく病院にかかり、入院したりしています。しかし、今の有田町は、乳幼児医療が3才の誕生日の前日までになっています。もうすぐ3才になるので、とても不安です。生まれつきの病気もあったため、保険にも入っていません。もう少し医療費の助成がしてほしいです。少子化にもなると思うので…どうかお願いします！！(30代女性)

保育料をもう少し安くしてほしい。家のローンもあるし、家計が厳しくなり、子3人目が欲しいが、ためらってしまう。(20代女性)

少子化対策について

経済的な理由で子供を作れない家庭がないようにしてほしい。(20代男性)

今、3才と5才の子育て中です。子供の医療や、早産で生まれた未熟児などの受け入れなど、小児医療の充実をお願いしたいです。佐賀県は田舎だけれど田舎なりのよさを守りつづけてほしいです。(20代女性)

生まれ育った所はやはり愛着があり、その習慣にどっぷりつかっている。今の生活習慣に慣れきっているのも、もう少し住みやすくなってくれれば問題はあまり感じない。地域に子供の数が少ないのがやはり寂しい気がします。もっと子育てしやすい環境を作っていかなければと思います。三世同居できる地域づくりも大切です。(50代女性)

町によって子供の医療費負担が異なるという問題をなんとかしてもらいたい。みやき町は毎月人口が減少していて、小学校も定員割れするなどが見受けられますが、私は長男の嫁ということもあり、好きではないみやき町に仕方なく住んでいます。子供のことをかんがえると、みやき町は子供も少ないし、暗い道が多く、とても引越したい気持ちです。県の方で佐賀県全体が均一になる様努力して頂きたい。(30代女性)

少子化が進んでいく中で、子供を産みやすい環境、サービスも同時に必要ではないでしょうか？(30代女性)

市町村合併をしたら、合併前よりも児童医療(就学前まで医療費免除等)の期間が短くなる事もあるので、県内どの地域でも同一条件にして欲しい。なるべくなら就学前までにしてもらいたい。(30代女性)

子育て支援にもっと積極的になっていただきたい。(20代女性)

高齢者、福祉のことは大きくとりあげているが、子供たちの医療等などには、あまり重視の声が聞こえてこない！！(30代女性)

私の子育ての理想は3歳までは母親がそばにいて色々な社会のルールの基礎を教えることです。しかし実際は赤ちゃんの頃から保育所等に預けざるを得ない状況です。キレる子供の原因の一つではないかと思えます。母親が経済的不安なく子育てできる様な体制がこれから必要ではないでしょうか。私達大人が年老いた時、社会の中心となっているであろう今の子供を立派に成長させるためには、やはり親の力が一番必要だと思います。(30代女性)

子供を育てやすい県になってほしい。(20代女性)

子育て支援をもっとしていただければ、少子化にもつながると思います。(20代女性)

<p>次の子供を産みたいものの(母パートでも月33,000円とられる！保育料が高い。)(産休が無い)など、自分ではどうしようもできない問題があります。私より若い人々も同じ意見を結婚する前から持っている子も多く、少子化はますます進んでいくのではないかと、一女性として感じます。ぜひ上記2点特に力を入れて、子供を産み育てやすい社会佐賀県を作って下さい。ある県は児童手当が月4万円支給されています。この格差は何でしょうか？所得の低い(年400万円以下)の世帯など一定の人を対象からでも早期に子育て支援を望みます。(30代女性)</p>
<p>とにかく子育て支援を充実させてほしい。(20代女性)</p>
<p>子供を育てやすい佐賀県になってほしいです。お年寄りもしっかり貯金をしていればお金への不自由はないけれど、赤ちゃんは働けませんから…。子供はたくさんほしいけど、月5000円では…。若い人も子供を欲しいとは思っているのだから、出産しやすい環境を作ってほしいです。(20代女性)</p>
<p>今少子化が問題になっていますが、共働きの両親などいる中で子供が安心して預けられる場所、又価格が安くてと価格が高ければなぜ働くのか、少しでも裕福でありたいと願ってだと思えます。ぜひお願いします。子育てがスムーズに流れるように。今鳥栖では 〇〇 が民営化になろうとしています。役員などたずさわる様になれば働かなくなります。ぜひこの問題を考えていただけたらいい。今困っています。(40代女性)</p>
<p>今、1才の子供がいるが(もうすぐ2人目の子供が産まれる予定)、乳幼児の医療費の助成をもっと充実させてほしい。佐賀県では3才までの乳幼児にしか助成対象になっていないのが残念である。他の都道府県では6才までか小学校まで助成対象になっている所もある。県が少子化対策に本気で取り組もうと思うなら、乳幼児の医療助成の範囲を拡大していくべきだと思う。(30代男性)</p>
<p>今から子育てをする立場なので、子育て支援の充実をお願いしたいです。子供が熱をだしたりすると保育園等はあずけられないけれど、仕事を持っていると仕事もなかなか休めないのが現実です。多少の風邪ひき等でもあずかってくれる所があると大変助かります。よろしくお願いします。(20代女性)</p>
<p>休日夜間診療所について(子ども)…休日の夜間(夕方から)は当然のように1時間以上待ちです。急な発熱の時に解熱剤が欲しい時などは1時間以上待ち親子共に辛いものがあります。医師の確保が1名以上無理ならば何らか他の改善策をお願いしたいです。(30代男性)</p>
<p>子どもの医療費がかかるので、就学前まで助成していただけることを強く望んでいます。そして、保育園、幼稚園の保育代も安くしていただければ家計が助かります。ご検討をよろしくお願い致します。(30代女性)</p>
<p>(2) 高齢者の福祉・医療について</p>
<p>高齢者福祉対策の件ですが、ねたきりとか、デイサービスにいきたがる老人の場合はいいのですが、人とまじあえない老人もいます。また、まだら認知症の人もいます。そんな老人といっしょにすんでいる家族は働かないといけないうつききりで、みてもいいけどそれできない。あずけたらあずけたで仕事でもつれにきて下さいとかTELがあったりするんですね。いろんな老人ホームみたいなのできていますが、そんなまだら認知症の人を預かってくれる病院なりホームがほしいと思います。私もそんな思いをしたからです。(40代女性)</p>
<p>高齢者家族に対し介護保険が高すぎる。国民年金だけの夫婦に対しきびしい生活になります。まだ介護保険を利用していない人には支払いに大変です。何らかの援助がほしいと思います。(60代女性)</p>
<p>私が住んでいる地域は、山間部で自家用車が必ず必要です。高齢者は巡回バスを利用しています。将来病気になるったりした時、高齢になり車の運転ができなくなった時等を考えるととても不安です。市街地に近い所に住みたいと思う事があります。そのような時の援助、支援等考えてもらいたい(50代女性)</p>
<p>65才以上での介護保険料の金が高すぎる。(60代女性)</p>
<p>高齢化が進み、介護保険を使ってサービスを受け、在宅で生活することを進められています。ますます高齢者が増加されると予想されます。デイサービス・デイケアを利用し在宅で生活できる方は少なく、宅老所やケアハウスに行かれる方、施設へ行かれる方も多く、その様な施設・サービスを充実していかなければいけないと思います。(30代女性)</p>
<p>私は現在入院中です。家族には迷惑をかけているし、特に主人には多分の負担をかけています。障害者の助成、介護の申請で嫌な思いをしてる様です。具体的なことは書いても、担当者の答えは「適切に対応しています」と云うでしょうからこれ以上は書きません。(70代以上女性)</p>
<p>介護保険が高すぎる。家を持っている人、借家の人への介護の使い方がわからない。介護の中に家の設備を変えろというのがあるが、借家の場合それができないので介護保険を使うことができないので困っている。(30代女性)</p>

<p>高齢者(70才以上)の健常者の未病対策として各地区の公民館で運動する機会を増やし、若い方の職業として成り立たせては如何でしょう(そこには、スポーツ指導者、管理栄養士等を派遣、他に精神科の教授、僧侶、神父さん)。現在、月一回の老人会だけシルバークラブ活動を活発にしては如何。(70代以上女性)</p>
<p>今は老人が増えて、年金に頼って生活している人も多はずです。こんな弱い立場の人を重点的に住みやすくなるように、経済的に支援を増やせないか？(例えば公共交通機関や医療費の負担減や老人ホームを増設して一人暮らしの老人減など)。(20代男性)</p>
<p>(3) 障害者福祉について</p>
<p>会で大分の太陽の家を視察しました。障害者の方が健常者と共に働く場所が有りその敷地内に銀行、スーパーマーケット、スポーツセンターが有る。たくさんの方が働いて有った。企業もいくつも入って有りました。そんな企業日常生活に必要な周りの環境が整っているのにびっくりしました。車社会でも障害者には手の届かない人も居られる事でしょうが太陽の家を観て感動いたしました。佐賀県もこんな明るい福祉の町県政をめざしていただけたらと思いました。(30代女性)</p>
<p>県政の福祉、主に{知的障害者への支援}についての意見です。 障害者自立支援法が施行され、すでに実施されていますが、表向きはすばらしい法律の様に見えますが、今の現実問題として、知的障害者や、その支援者、福祉施設、その家族にとっては施行される前より、精神的・経済的苦痛が多くなっています。さらに、今の現状に追い打ちをかけるように、新たな障害者区分の調査が始まり、その調査で決定された区分によっては知的障害者にとって、よりきびしい生活を強いられる事を危惧しております。国の法律とはいえ、そもそも区分のための調査は精神・身体・知的障害者をすべて一つにとらえ同じ調査内容を行うことは、かなりおかしいと思います。区分変更により弱い立場にありながら知的障害者がこれまで長年にわたって培ってきたコミュニティや活動が一度に失われ、経済負担も増えることが予想され、今後の知的障害者にとっては深刻です。県や市町村におかれましては、知的障害者の立場に立って、よりあたたかい支援を求めたいと強く思います。(30代女性)</p>
<p>10年前まで2人の老人を介護していました。一人は身障者(車イス)でした。散歩によく連れ出していましたが、歩道の悪さ、入園料(身障者は安くなって付き添い人は一般料金)他県では付き添い人(介護する人)も安くなって入園入口も別になっていました。県によってこうも違うのかと驚きました。身障者を家に引き込ませない為に検討願いたいと思います(10年前の事ですので今は良くなってる事でしょうけど...) (60代女性)</p>
<p>障害者福祉対策をしっかりとしてほしい。自立支援法になり、障害者をもつ家庭では、経済的負担が増し、以前以上に生活することだけでも多難な日々となっている。障害を理解・支援して共に生きて行くことだけでも必死の毎日なのに...。障害児者が将来を考えられる状況になってほしい。今のままでは日々を生きて行くことのみで手も頭もめいっぱいである。障害者にもっと理解のある「県」になってほしい。老人もそうであるが、弱い者から見捨てて行くような支援法はもう一度考えてほしい。(40代女性)</p>
<p>障害者福祉(自立生活支援)(70代以上)</p>
<p>(4) 福祉について</p>
<p>障害者、高齢者、子供に関する事は充実させてほしいですが、母子家庭だけではなく、父子家庭も母子家庭と同じ何か支援があるといいと思います。(20代女性)</p>
<p>高齢者に対する政策の充実と少子化対策を真剣にかつ実行的にしてほしいと思います。(50代男性)</p>
<p>高齢化社会といわれ、介護保険についてもっと検討してほしい部分がある。また、佐賀は子育て支援や高齢化社会問題について他県に比べ遅れているような気がします。県民が何をどう考え、どうしてほしいのか、ということ年代別に調べてみてはどうでしょうか。(30代女性)</p>
<p>県立の福祉施設の解体も、地域の受け皿もなく一方的に実施しており、「福祉にやさしくない県日本一！！」ではないでしょうか。もし家族が、県立の施設に入所しており、解体するので、出なければならなくなったが受け皿が無いとなった場合を自分の立場に置き換えて知事は考えたことがあるのでしょうか。他県と違う、目立ったことをすればよいのではありませんよ。私達の意見に耳をかたむけ、本当に佐賀に必要なものを考えていただかなければ、「佐賀に住んでよかった」はありえないと思います。知事、よろしくお願いしますね。(30代女性)</p>
<p>子供、老人が安心して暮らせるように支援をしてほしい。特に年金で生活できる体制にしてほしい。(50代男性)</p>
<p>住み良い佐賀県にするには、高齢者福祉、子育て支援に力を入れてもらいたい。(50代女性)</p>
<p>母子家庭、一人住まい、年金のもらえない人達への福祉を充実してもらいたい。年金、健康保険、市町村民税、その他、支払うものが高すぎる。上記のものを払うことのできない人が多い。生活を支援してほしい。(50代女性)</p>

<p>(5) 医療・健康づくりについて</p>
<p>現在若い人は、明るく素直にあたたく人間の基本を忘れて自分さえよければと言う人が多いように思う。ボランティアの心がほしい。体は動けば強くなる 元気の素は空気を朝おきしていっぱい吸って朝食をちゃんと取っていれば74才でも自営業できて病院に行って薬をのんだ事はない。今、太極拳や気功をして元気です。プラス思考がよいと思ってますので県でも力を入れてください。お願い致します。町でボランティアが出来た時から20年ぐらやってます。(70代以上女性)</p>
<p>健康保険制度に不満。一元化に期待！！ ピラミッドの一番底辺の生活苦はいくら説明しても県政市政を行う方々にはわかってもらえないと思う。ガン治療のために職を失い、経済的に苦しく、国保を滞納せざるをえないと窓口に相談に行きましたが5千円でも一万円でもいいから誠意をみせてほしいといわれて絶句。たくわえがないことを反省もしますが…(50代男性)</p>
<p>唐津地区の医療機関が貧弱。出産等は福岡・佐賀へ行かねばならない。一般治療も福岡・佐賀へ行っています。(70代以上男性)</p>
<p>医療体制の整備が他県に比べるとおくれしている。(40代男性)</p>
<p>生活習慣病予防のため食堂外食の薄味、運動の大事なこと(70代以上男性)</p>
<p>伊万里市に対して一番不満に思っていることは、伊万里に病院(夜間でもすぐに行ける)がないこと。子供、老人をかかえているとよくそう思います。安心してまかせられる病院をとつくづく感じる今日このごろです。県は佐賀市だけではなくちゃんと他の市町村のことも気にかけてほしい。伊万里にも大きな病院を作って下さい。市民病院の合併の話などがよく出ていますが、一日も早い結論をお願い致します。(40代女性)</p>
<p>年齢と共に入院が多くなり、特に思うことは病院での失ばい等の多いのにはおどろきです。もっともっと仕事の出来る人を育てて世に出してもらいたい。(70代以上女性)</p>
<p>(6) 県病院について</p>
<p>県立病院移転は何故必要なのか。移転を実施したら、中心街がこれ以上に空洞化すること必至。県病院の南、西側に空地あり。利用できないのか疑問に思う。嘉瀬地区は車の混みがはげしい。(60代男性)</p>
<p>県立病院の医師がベテランから他の病院へ移られたと聞いたが、民主的な運営がなされているのか。知事や第三者が人事を公平に保つ制度がいるのでは。箱だけ作っても県民の役に立たないのでは。(50代男性)</p>
<p>2 教育・文化・スポーツ</p>
<p>(1) 学校教育について</p>
<p>教員を目指している私には、佐賀県の教育現場はとても素晴らしいと思います。(特に小学校)(20代女性)</p>
<p>小学校中学校の先生たちへの支援体制の充実。無記名で先生達からの意見をだしてもらいたい。親も含め子ども達のまわりにいる大人が忙しく疲れていると、子ども達は未来に希望が持てません。大人がイキイキと仕事をしている姿を子供たちに見てほしい まずは一番身近な先生達から。(40代女性)</p>
<p>学校教師の質をあげるべき学校三役は会社じゃないんだ！！(40代女性)</p>
<p>給食費未納が大きな問題になっていますが、給食もそろそろ見直して、選択制(弁当か給食)にするべきではないでしょうか。選択制なら、払わない人は給食を出さなければいいので、未納もなくなると思います。前もって、お金と一緒に給食の申し込みをするという風にすればどうでしょうか。(30代女性)</p>
<p>公立の中・高一貫校を増やして欲しいです。ゆとり教育の弊害は大きすぎます。(30代女性)</p>
<p>学校教育対策について 子供に得意分野(勉強だけでなく、スポーツ等でもよい)を持たせてほしい。教師に、教育のための体罰を認めても良いと思う。(20代男性)</p>
<p>そして、ぜひスクールバス(小中学校)導入を！！(30代女性)</p>
<p>教育の各先生の教育の社会的、民間の社会のこと、子供一人一の命を大事にして欲しい。マスコミの報道をもっと各先生、校長、教育委員会が実感すべきです。親の気持ちから皆さんが、家族があり、毎日があります。もっと真剣になってください。(40代男性)</p>
<p>教育にはしっかりお金をかけてください(30代女性)</p>
<p>教育については問題になっているいじめについても、もっと考えていくべきかと思います。(30代女性)</p>

<p>教育について</p> <p>高等学校、特に普通科の先生方の多くは高校としての進学実績を上げようととにかく大学への進学を薦めています。しかし、本来もっと生徒の人生観や職業観に沿った進路指導があってよいと思います。先生方が空回りをしていて生徒がついていけない光景を良く見かけます。フリーターやニートをこれ以上増やさないためにも、もっと生徒に向き合って指導すべきだと思います。なんとなく大学へ行っても意味が無いし、フリーターやニートにつながりかねないと思うからです。(20代男性)</p>
<p>教育に関して子供達の悩みなどに対し、親身になって接している教員が少ない。質の低下が著しい。(40代男性)</p>
<p>古川知事に変わり、県政のガラスばりが行われていると感じています。ただ中高一貫校や、原発のプルサーマルではもう少し現在の公立中学校のよさを引き出してほしかったですね。(50代男性)</p>
<p>唐津市小学校TT制反対。(30代男性)</p>
<p>長男が中学2年より不登校になり、それから後ひきこもりとなり家におります。諸問題ありましたが、きっかけはいじめ問題でした。県にお願いしたい事は、小学中学の12年間子供、親が安心して過ごせる学校環境を整えてもらいたいです。それがその後のその子の人生にも大きく関わってくるのです。そして今、息子のような人も県には多くいらっしゃると思います。親は今までもこれからも努力していきます。ですからこういう息子たちの為、少しでも力を貸してください。よろしくお願いします。(50代女性)</p>
<p>子どもの通った学校の先生は、とてもよくしてくれた。人づくりをする大切な職業なのに「教員に求められる資質」などとマスコミのように評論すべきでないと思う。教員がのびのびとがんばれる環境をつくって尊敬してこういう体制が必要ではないか？おかしい教員は、ちゃんと指導すべきだが、全体の先生が悪いような風潮は、県としてはしないほしい。もっと先生たちをはげますような施策をしてほしい。(40代女性)</p>
<p>現在国では教育基本法とかが叫ばれていますが、その中に道徳教育を佐賀県内だけででも行って欲しい。このままでは日本の将来は暗い。ある程度のスパルタ教育でも良いのではないか？(60代男性)</p>
<p>小中学生の校内暴力と教師の指導力。頭より実力のある先生を採用してもらいたい。(70代以上女性)</p>
<p>(2) 社会教育・文化について</p>
<p>県民協働というが県が当然しなければならないことも行革という名のもとに一般市民にその仕事を転嫁しているのではないかと時々思う。博物館などは県の教育機関であり教育再生に向けて社会教育の場としてなくてはならないものであると思う。宇宙科学館の民間委託は今更であるがきちんとした専任の学芸員を置くべきで(他の職場への転任などの)あったと思う。パブリックコメントを知らなかった……(70代以上女性)</p>
<p>社会保険センターが3月までで終わります。今まで趣味をいかして学んでいましたが、民間のところに行くことになりました。公共の場で学べるところを作ってもらえないでしょうか。(70代以上男性)</p>
<p>全県的な文化活動、市民会館的施設の拡充、等を図り(文化レベルの)均一的発展をしていけるような具体策の提案、実行をどんどん行って頂きたい。ひいては「佐賀に住みたい」「愛着心の向上」となるよう、ご努力願いたい。(40代男性)</p>
<p>立派な博物館・美術館あるのに展が少ない。どうして旅費使って福岡へ行かねばならないのですか。文化・美術がおろそかになりつつある。(60代女性)</p>
<p>その地方の伝統文化、重要文化財の保護管理。(70代以上男性)</p>
<p>(3) スポーツについて</p>
<p>プロサッカーJ2サガントスへの支援活動(資金・応援体制の確立)(60代男性)</p>
<p>県民体育祭とかしたいです。現役を退いた方も生涯現役でいてほしいし、世代を越えた交流がもっとあっていいと思います。巨大スタジアムが必要ですね。(30代女性)</p>
<p>スポーツ施設に対してもう少し力をいれてほしい。たとえば、駐車場の拡大及び施設の建替などです。(40代男性)</p>
<p>高校総体を成功させましょう。(60代女性)</p>
<p>本年度は佐賀県で高校総体が開催されますが、私の子供等の部活で他県等によく行ってましたけど、すばらしい体育施設等があります。その点佐賀はだいぶ遅れていると思います。その点の充実化をお願いします。(40代男性)</p>

3 交通基盤・社会基盤整備・情報化

(1) 九州新幹線西九州ルートについて

新幹線の県民の満足度、実に反対者が多いのに、莫大な借金をしてでも造る計画の様ですが如何なものかしら？ 県民の声を聞く必要があるのでは、夕張のようにツケが来ることは目に見えているようです。断固として反対です。もっともっと県民の声を聞いて下さい。(60代女性)

長崎新幹線は不要(40代男性)

新幹線の早期実現を頼む(70代以上男性)

長崎新幹線に対する費用負担が多くなると思うので反対します。(70代以上男性)

知事・県議、それぞれ出身地区には力を注ぎ、(知事)嫌いな地区(嫌いな市長)には、無理難題を押し付け、新幹線は必要なのか！！長崎だけが得をするのは、わかっているのに(?)誰に言わされているのか？！(40代女性)

新幹線問題速く決着してもらいたいです。(50代男性)

新幹線鹿島市問題は約束通り地元了解を守るべき。(70代以上男性)

長崎新幹線の問題と同じ、新幹線の時間的利便性は認められない(佐賀市から福岡へ通勤するものにとって)古川知事は、住民の声を真しに聞いたほうがいいですよ。(70代男性)

九州新幹線問題で現在は頓挫しているようで、武雄駅周辺はまるで火の消えたような有様で政治や世情にはうとい私ですが、反対の為の反対みたいに取れてもっと大乘的な心を持って反対の者たちも前進して行く方向目指して話し合いをしていき、着工の運びになる事を期待する者の一人です。(70代以上女性)

長崎新幹線反対。必要なし。(60代男性)

長崎新幹線は不要です。今のJRでもっと本数が増えるほうが良い。(40代男性)

唐津～佐賀、空港(つくる)、JRのふく線、電気化 新幹線より大事では。(15分の短縮のための借金はしたくない)唐津人は福岡に買い物に行ってる。福岡県唐津市でもよかったのでは、と思うくらいだ。新幹線はいらん。(通り過ぎの県になるだけ)(50代男性)

少子高齢化が進んでいる今、長崎ルートの新幹線は不要。国も地方も財政が悪い中、活性化を言われているが、通過点にすぎない。佐賀県にもし新幹線が来たとしても利用客は予想以上に少ないと思う。工事期間は、雇用の面でうろうろかもしれないがそれも将来を見つめると子供の代にまで負を残すことになると思う。それよりも鳥栖から長崎本線、肥前山口からの佐世保線の単線を複線にと希望します。(20代女性)

新幹線、プルサーマルに関しては県の方針ではあるが県の立場の部分が報道されることが多い。もっと公平に(反対意見を正確に報道するなど)県民に知らせるべき。(50代男性)

県民の意見に耳を傾けるのも実状をきちんと把握した上で判断をして欲しいと思う。バス・JRの事でも利用者が不便を感じるようになるのであれば、全面見直すことも必要になる。利益、(赤字)のことだけの判断は考えてほしい。

新幹線でも同じ。必ずしも良いとは思えない！新幹線ができた事で線上にない町がどの様になっているのか声を聞いてほしいものです。(40代女性)

県知事は新幹線長崎ルート着工を早急にしたいと言われているが、当佐賀県の財政負担等を考えると中止したら良いと思う。新幹線よりも県病院等の早急建設にかかる費用の負担が多いのにメリットのない(少ない)方を中止してもらいたい。どうしても長崎県の言っている様に着工しなければいけないなら2/3の費用を長崎県に負担してもらいたい。県民はこれ以上借金をしたくありません。それでなくても公務員の給料は7年前に減らされて困っているのに！！(50代男性)

新幹線問題、沿岸道路問題が周りがあるが、佐賀の良さである自然を壊してまでもまた多額の税金を使ってまでもすすめるべきことであるのか疑問である。10年先、20年先の青写真(佐賀はどんな県であるべきか)を持って再考してほしいものである。(70代以上男性)

長崎新幹線建設より、老人、障害者、母子、福祉などに予算を回してください。(70代以上男性)

長崎新幹線はもう一度見直す必要があるのではないのでしょうか。(50代女性)

県の財政は大変きびしいと状況といっている中で、無駄なこと多々あり。新幹線長崎ルート 佐賀には何のメリットがあるのか。鹿島市沿線はデメリットになる。長崎の人の為に無駄な費用をかけるのに、合点がゆかぬ、時間短縮などバカな事を云わない。(60代男性)

九州新幹線西九州ルートは必要なのか疑問に思っています。投資額に対する効果がはっきり見えない。(50代男性)
次の世代のためにも新幹線長崎ルート早期実現に向けて尽力願いたい。(70代以上男性)
新幹線建設に県は力を入れておられるようですが、時間的にも大した効果は期待できないし、観光客もこれによって増加すると思えないし、税金を使ってまで建設する意味はない。そんなに急いで何処へゆく!!(70代以上男性)
九州新幹線建設についての賛否を全県民にアンケートをとってほしい。(70代以上男性)
新幹線が本当に必要かどうかを県民に聞く必要がある。絶対に聞くべきだ!!税金負担が多くなるし、利用者がふえるとは思わない!!具体的に「絶対に黒字」というデータを出してほしい!!県民が納得するものを出してほしい。(30代女性)
長崎新幹線は反対です。在来線をもっと充実させるべき。無人駅の職員配置や駅舎の建て替え、列車の増便(普通列車)(50代男性)
県財政が厳しいと言いつつ無駄な事業が多いと思います。長崎新幹線は必要ありません。(50代男性)
新幹線は全く考え違いをしている。必要ない!今の長崎本線で充分福岡まで行くのに「かもめ」で十分、ストローク減少が加速するよ。温泉も日帰り?適度な不便さが魅力につながると思うけどなぁ。湯布院には7000円もの高速料金使っても行ってしまふ。新幹線なんかいいよ。あの列車がいい。でも佐世保線に使った列車だったんだよ。魅力がないところを何を走らせたって同じ。努力してないもん商売人が。長崎はそれより先がないんだから、逆の発想でゆっくりそれも15分位しか時間変わらない!ゆっくり行けばOK!(50代男性)
新幹線建設は反対です。博多までは特急で充分です。たくさんのお金はもっともっと話し合っただけで他の方に使って下さい。お願いします。いつもそのように思っていました。
西九州新幹線に反対。佐賀ー博多間が5分位の短縮で新幹線料金も上がり現在の特急で満足である。佐賀空港の二の舞で税金のむだ使い。県民の大多数が反対している。(70代以上男性)
新幹線の長崎ルートのメリットが良くわかりません。既存のものどう違うのか、明確な情報の提供が必要ではないでしょうか?TVやラジオ等で情報提供の機会を増やしてほしいと思います。(20代男性)
何としてでも九州新幹線西九州ルートの実現を!(40代男性)
長崎新幹線は県には何の利益もない。一部の土建屋をもうけさせるだけ、長期的には県の衰退につながる。(60代男性)
新幹線長崎ルート早期着工のため最大限の努力をしてほしい。鹿島市との交渉を精力的に行ってもらい、一日も早い解決をしてほしい。嬉野町に新幹線駅ができれば、観光客も増えるし活性化につながるの、頑張ってください。(70代以上男性)
新幹線は廃止します。長崎県にだまされません様に。古川知事は困ります。(70代以上男性)
県財政が厳しい中で新幹線は必要か?(30代男性)
たくさんのお金を使っての新幹線建設は不要です。佐賀駅から博多まで所要時間の短縮に大差ないと聞きます。もったいないです。反対です。(70代以上女性)
公共事業の見直し(佐賀県は新幹線必要ない)。(50代女性)
新幹線は作る必要は全くない「費用対効果」。佐賀空港利用がまたへる。佐賀県も夕張市みたいになりたくない。県民所得も低いのだから。(50代男性)
まさかプルサーマル対策費(国からのお金)で新幹線作るなんて考えてないですね。カモメ号は増便すればよろしい。空港いじで精一杯なのに県病院を1日も早く取りかからねばならないこの時期、お金の使い道を本当に真剣に。(60代女性)
新幹線が通らなくても佐賀県が駄目になって、生活が出来ないではありません。長崎県民の為に巨額の税金を使ってどうして走らせなければならないのですか。(50代女性)
長崎新幹線は本当にいらぬと思います。(50代女性)
古川知事は長崎新幹線賛成の立場ですが、たった数分の時短で多額の金が掛かる新幹線等要らない。長崎迄JRで行く事は100%無い。行く時は車を利用。其の方が安くて済むし、時間の制約も無い。(50代女性)

<p>一つだけ意見があります。新幹線建設について、私及び私のまわりでは新幹線建設は費用対効果の点から反対する人が大多数であります。なのにとこの首長さん達もこぞって推進の立場と取っておられます。嬉野の市長さん、地元負担金はいくらですかと聞いて、最近やっと10億円程度との答えでしたけど、本当に10億ですか。2780億の費用を関係市町村で単純に分担したとして50億位かかり、国・県の補助金があったとしても10億円ではとても済みそうにないと思います。最終的につけは全部地元住民にかかって来ます。新幹線建設に住民税が絶対とらないという確約がほしい。(60代男性)</p>
<p>長崎新幹線について反対。(20代男性)</p>
<p>(2) 道路について</p>
<p>鳥栖市民としては県政はあまり身近かに感じられません。強いていえば学校の通学路など草が生茂って道が狭くなっていたり、歩道が狭い所やガードレールがない所などを整備してもらいたいと思います。(50代女性)</p>
<p>鹿島市高津原吹上地区に平成15年12月18日に207号線が開通いたしました。交通の便は良くなりましたが周辺住民にとっては騒音振動のため落ち着かない日々を過ごしています。静かで鹿島市ではもっとも静かで環境にめぐまれた地域としてたくさんの人が移り住んできました。それが今では一変して夜も眠れない状態です。せめて街路樹でも植えて頂ければと思って市役所、土木事務所をお願いはしておりますが、おそらく県庁にも市の建設課も土木事務所から連絡は入っていると思っております(注)この207号線の沿線は道路が開通時には街路樹は植え込みしてありました。地球温暖化が進むなか環境は最優先すべきだと思います(70代以上)</p>
<p>仕事が終わって家に帰る時に夜道がとても暗い所が多いと思います。たしかにお近くにお住まいの方は明るすぎると大変かもしれませんが、通る方としては少しくわく感じます。少しでも明るくなればと思うのですが(20代女性)</p>
<p>佐賀市内の街灯(トンボ)が広域に設置されており唐津の街創りに反映させてほしい。(30代女性)</p>
<p>兵庫南の東西にのびる道路の歩道がボコボコになってますが、ゆめタウンの工事の影響ではないんでしょうか。(30代女性)</p>
<p>市町村へのアクセス道の早期整備の着手(50代男性)</p>
<p>税金の無駄使いと思う事が良くある。例えば、北方町の田んぼに中に道路を造ったり(20代女性)</p>
<p>歩道整備について。足が不自由で歩行困難な者ですが、美化よりも歩きやすい道路にしてほしいです。特に佐嘉神社前の石畳は歩きづらく、玉屋前の中央大通りの歩道はタイルのはり方が雑です。水ヶ江大通りのブルーのタイルはとても歩行しやすく助かっています。10年前に盲人用のおうつづつまずいて2ヶ月入院した事がありますが、市役所周辺はおうつづがなだらかなので歩きやすいです。美化よりも歩行者の立場を考慮して整備して下さいませ。(60代女性)</p>
<p>P8. 交通基盤(ネットワーク)の中の生活道路の整備の事です。我が町では歩道が整備なされていますが、障害者(特に目の不自由な方)のために道路の凹凸が多く、高齢者の方が歩きづらそうで気の毒に思います。今後は老人社会になります。なんとかならないでしょうか。(60代男性)</p>
<p>道の整備(みにくいところのミラー設置など)に力を入れて欲しい。(20代女性)</p>
<p>佐賀～唐津高速道路工事の促進 標記については一部作業はされているようですが、開通の見通しが分からない。福岡市へ行く道路はほぼ完通しているのに、佐賀行きは不便です。(70代以上男性)</p>
<p>田舎の方に行きますと道はどこもきれいに整備されていますが、道路標識が無いので、たいへん不便です。県の仕事かどうか分かりませんが大型農道の近辺です。(70代以上女性)</p>
<p>車が今は多いため子ども達に通学路を。(50代女性)</p>
<p>私の前の道路は県道ですが歩道がありません。朝、夕の車の量も多く、大型車が通るとこわいくらいです。近所には小学校もあり、安心して歩ける歩道ができることを願っています。(50代女性)</p>
<p>厳木以西のバイパス建設がここ何年と停滞している。西九州道路と比べ余りにも遅すぎる。(60代男性)</p>
<p>私は玄海町ですが、町庁舎の東がわの有小の通学道路が大変悪いです。小学生又老人達の道路整備をよろしく。(60代男性)</p>
<p>新幹線より有明沿岸道路の早期着工を望む。当町を通る広域農道丸目～川副間は他県のトラックが多く危険で有る。事実知人も死亡事故に会った。福岡県は着工しているのに佐賀は遅れている。何故だ!! 古川知事に期待して先の選挙には投票したが、今回は一考の余地有り。(50代女性)</p>

西九州道路の早期着工を県の方から指導してほしい。(70代以上男性)
(3) 有明佐賀空港について
飛行機も利用しにくいし、こんなの必要だったのかと今でも思っています。(50代女性)
無理して佐賀空港なんか作らないほうが良かった。便利な福岡空港を短時間で利用できる地の利があるのだから。(40代男性)
佐賀空港は他の市町村の財政負担が大きく、民間企業や自衛隊などとも連携して収入増を図るべきだと思う。(40代女性)
佐賀空港の便数、航路が少ない。(40代男性)
外国(特に東南アジア等)に出張所等作り、相互の発展を計るべきである。佐賀空港をそういう計画でもっと利用を図るべき。(60代男性)
(4) 公共交通機関について
佐賀は車で行動しないとどこも行けなくて困る。私は車を運転しません。もっと鉄道やバスの本数をふやして車社会をすくなくしてほしい。環境問題に大きく影響すると思います。(30代女性)
バスの本数が少なく車がないとすごく不便です。(30代女性)
公共の交通を便利にすること。マイカー社会すぎる。例えば公的交通機関を使うとして、唐津に住んでるが、肥前町や武雄・大和町やらへは車なしに行けないに等しい。(60代男性)
バス、JR、空港等にも不便が多すぎる。何も無い所に空港を作っても行く気すらないし、電車がなければ、バス、車、タクシーで行くしかない。そんな不便なら福岡まで行ったほうが良いとだれもが思う。もう少し頭を使って『暮らし』を考えてほしい。貧乏人のレベルで県内を見てほしい。(20代男性)
(5) 上下水道について
上下水道の整備事業(50代男性)
下水道処理に早くしてほしい。それと、水道ですが、薬臭くそのまま飲んでも大丈夫なのでしょうか??浄水機をつけたほうが良いとよく勧誘がある。(30代女性)
(6) 公共工事について
談合規制は充分か?県自体としても、止むを得ないと内心思っているのではないか?もう一度、方策を強化すべき。(70代以上男性)
公共事業等が減少しているので、もっと予算計上して頂きたい。(40代男性)
公共事業の地元中小企業への誘致(50代男性)
公共工事の予算が多すぎると思う。設計士の予算ですか、県庁マンの予算ですか。予算より10%下げている入札させて見てはいかがですか。談合でも良いではないですか。予算内で思った通りの工事が出来れば、別に城内公園の件ですが、造園屋が4~5年前の工事人は良かったが、最近の工事人は良くない。植木がだんだんとフチ石より出てきている。又枯れ葉も良く取らない。お堀のゴミも月一回も取っていない。前の人達は良く掃除していたと思う。4~5年前より予算が6掛け位の仕事しかしていない様に見える。毎日散歩しています。(朝・夜)(60代男性)
嘉瀬川ダム、空港道路等の進捗状況が見えない。(50代男性)
有明湾干拓やダムなどの大型公共事業の完全廃止し、その費用を社会福祉、植樹などの環境保護・伝統行事などの文化へ割り当てる。(20代男性)
公共工事発注にあたり、工務担当職員の技量及び配置を見直してもらいたい。工事の進捗に伴う打ち合わせをデスク上(参考資料使用)ばかりでの対応ではなく、工事現場に積極的に出向いてもらい、適切な指示、解答で即決して頂きたい。また最近では、県政の不正により公共工事の工事期間が前倒しになったこともあり、スムーズな工事の流れ、良質な構築物を築きあげる為にも必要な事ではないでしょうか?(30代男性)

4 安全・環境

(1) 交通安全について

飲酒運転防止の事で、飲酒時には、必ず代行運転を利用しているが、一度も取締りにあった事が無い。その為か、このくらいならで運転するのか、又、代行代金を支払ったつもりで、又飲みに行けるなど考えている者も多い。飲酒運転取締りは、深夜だけでなく、時には夕方や朝の出勤時(二日酔いの運転者多い)等にも実施したらどうかと思う。取締りの強化をおねがいます。(60代男性)

暴走族対策について

暴走族をなくすため、広島県警のように、パトカーでぶつけて逮捕してほしい。(20代男性)

生まれて初めて事故にあい今通院しているが、事故で、病院に通っている人の多さにびっくりした。私はもともと佐賀県民ではないが、こっちにきて思ったのは、運転が荒い人がとても多いという点でした。信号無視・ウィンカー出さないとか、今まで見たことなかった。今回事故は他人事ではないのだと心から思ったので、飲酒などと同じく、事故につながる道路の悪状況などにも目を向けて欲しいと思いました。(20代女性)

暴走族等の夜間による暴走行為は警告しても聞かないのなら、スパイクベルト等を用いて徹底化することも必要だと思う。

障害を持たれた方や高齢者の方々、児童の安全面をもっと積極的に行ってほしい。郊外において、交通状況が危険で外出できない。ますます引き込んでしまう。(50代男性)

4年前佐賀市に転居してきましたが市民の交通ルールのマナーが大変悪いと思います。特に横断歩道以外での道路横断が多いので車の運転が大変注意が必要です。市民の交通ルールマナーアップに行政として大きく取り上げてほしいです。(70代以上女性)

暴走族を本当に取締る気があるのかどうか疑いたくなる。追いかけるだけでなくつかまえて欲しい。根絶させるような対策を考えて欲しい。(20代女性)

最近、黄、赤信号でも、青信号と同様にスピードをあげる車を良く見かけます。飲酒運転同様に信号無視も強化して欲しいです。(50代女性)

飲酒運転撲滅と交通マナー。(70代以上女性)

(2) 防犯について

交番が機能を果たしていないので今の高齢者時代には特にたよりになるのが交番ですがいつも留守で警官が一人もいません。交番に職員を増員してください。(70代以上女性)

駅前の防犯対策に力を入れて欲しい。(20代女性)

(3) 原子力発電・プルサーマルについて

プルサーマルについて 県は県民の意見を素直に聞くべし
理屈や手続き論は真の県民の為の行政と云えない(知事の手続き論はいただけない)(60代男性)

九州電力のプルサーマル計画に反対(40代男性)

プルサーマルはぜひ県民投票をしてから決めてほしい。100%安全とはいえないはず 事故が起きてからでは遅すぎます!(40代女性)

プルサーマルに関しては、どう考えても安全とは思えないのですが、大きな地球全体の事を考えた視野で慎重に考えてほしいと思います。(40代女性)

原発のプルサーマル住民投票を住民の意を得るとい言われ方を知事がされとても残念でした。(50代女性)

産業についても、企業誘致などに力を入れているようだが、プルサーマルは、どうかと思う。財政難なのは、どこの地方自治体も同じだろうが、もう少し長期的な効果をねらってもいいのではないだろうか。他の県から拒否されたプルサーマル計画を、なぜ佐賀が受けることになったのか、もっとはっきりと県民ひとりひとりに分かるように、説明をしてほしい。(40代女性)

プルサーマル計画が進んでいるが、絶対反対です。(40代男性)

プルサーマル問題は本意である。議会の議員は県民により選出された議員であるが、プルサーマルの安全性や経済的な補助等情報をディスクローズし、住民投票を行うべき。古川知事は、住民の声を真しに聞いたほうがいいですよ。(70代男性)

プルサーマル反対。危険である。(60代男性)
県職員はもう少ししっかりして欲しい。知事は県民の意見を良く聞いて。此頃はワンマンです。議論をしすぎるという事は無いと思います。たとえばプルサーマルの事近くに住んでいる者の事も考えて。中央ばかり見ている様に思います。県民あっての知事です。もう少しやさしさを持って下さい。(60代女性)
プルサーマルの件はもっと県民と話し合いをして欲しい。(40代女性)
プルサーマルもいらん。(ゲンパツも)(50代男性)
プルサーマルについての受け入れは県民の声が活かされていない。受け入れ賛成は県議と市議会議員のみであった。(60代女性)
プルサーマルには疑問です(30代女性)
新幹線、プルサーマルに関しては県の方針ではあるが県の立場の部分が報道されることが多い。もっと公平に(反対意見を正確に報道するなど)県民に知らせるべき。(50代男性)
プルサーマル計画について住民投票を実施しないという決定は県民の考えを知りオープンな県政をという考えに逆行するものと思う。(60代)
先日プルサーマルに関する県民投票が県議会で否決されたが、納得のいく協議が十分されなかったように感じた。そもそも古川知事が受け入れについて県民に十分な説明をせずにOKしてしまったのがマズい。反対運動などが出来、後になって安全性をアピールしたりしている感がぬぐえない。建ててしまったら後戻りできないのに、なぜそれを県民が自分の意志で決められないのか！県民投票になって、受け入れを拒否されるのが恐いから避けているようにしか知事の態度は見えない。プルサーマルの安全性や国からの補助金などの情報公開をよく目にするが、他国ではどうなのかや、万が一の場合どうなるのかなど、マイナス面も含めて県民は知っておくべきだと思う。せめて、自分たちの投票で決めさせてもらいたいと思います。(30代女性)
プルサーマル県民投票について 知事は民主的な手続きを踏んでいるので投票は必要なしと言われているが、県民全体の生命にかかわる問題であり、該当地域の住民の意見を重点的に聞いて判断されるのは問題である。事は新幹線建設など比較にならないくらい重要である。(60代男性)
プルサーマルはもう一度見直す必要があるのではないのでしょうか。(50代女性)
50才をすぎて原発事故が不安でたまりません。福岡の地震以後、とても心配です。原発やめて、火力、水力、風力発電に変えてほしい。不便はがまんしても、安全の保障がほしい。(50代女性)
プルサーマル実施についても思い切って県民投票でも実施されれば、知事に対しての信頼が増したのにと残念です。県民をもっと信頼した県政の実施を強くのぞみます。(50代男性)
プルサーマル反対。(30代男性)
プルサーマルはまだまだ早いと思います。せめて、東部(東日本地区)で行ってからでも良いかと思います。日本の最西部の佐賀では、危険すぎると思います。万一のことが有ったら、日本全国が危険だと思います。知事は何を考えておられるのでしょうか。(60代男性)
先般プルサーマル住民投票について否決され、知事は玄海町唐津市の了解を得ているので住民投票の必要なしとの考えのようでしたが、それは両市町の事だけではないと思う。又他所で拒否されているものを当県では受け入れなければならないのでしょうか。(60代男性)
知事はなぜプルサーマルの県民投票を行わないのか不思議です。自信があるのであれば、堂々と投票を実施すべきではないのでしょうか。現在のままでは知事が自信がなく(県民と意見が合っていないと思っている)、自分の考えを通そうとしている様にしか思えません。(30代女性)
プルサーマルには力を入れよ(50代男性)
プルサーマル計画は安全性に問題があるので止めてほしい。(50代男性)
プルサーマルの県民による住民投票条例案を採決し、条例を制定して実施して欲しい。(70代以上男性)
玄海プルサーマルについては、なぜ住民投票をしないのか。否決の可能性が大だからと思う。(60代男性)
プルサーマル計画は県民の満足度は向上するのか？(30代男性)
「プルサーマル」は納得いかないものがあつた。住民には「こうします」だからよろしくお願いします。という感じで住民の意見を聞く事がなかったような感じです。(40代男性)

人間はまだ原子力を理解していないと言われているのにどうしてプルサーマルをそそくさと承諾するのですか。今までの世界中の事故、国内の事故かくし、データかくし、この危険を子供達に残して良いのですか。そんなにクリーンで安全なら東京湾ですらもらったら如何ですか。そんなに良いものなら東京電力も関電もその外の電力会社も双手を上げて受けるでしょうにふしぎです。(60代女性)
現在県民の多くの関心事になっている「プルサーマル」問題で、県民の強い受入れ反対の事を無視して、独断的とも思われる方向で受入れ賛成の結論を出した事に強い怒りをおぼえます。はたして、10年20年、いや子や孫の代までの影響を考えているのだろうかと思うと残念に思います。反動的な知事や県議会の判断に強く抗議をしたいと思います。裏で何かあるのではないかとさえ思えてなりません!!(70代以上男性)
プルサーマルに関しての一連の知事の動きに、全く納得がいかない。身内びいきもいいところ。民意の反映は、ほぼない形となった。今からでも動かせるものなら動かしたい。(30代男性)
(4) 新エネルギー・環境保全について
佐賀は田畑が多く、一見のどかですが、ヘリコプターによる農薬散布が子どもたちの登、下校時にもあり、前が見えないくらい薬で汚染された道路を歩いています。また野焼きの煙で洗濯物は汚染される。また、その前も見えないような煙の中を歩いて帰る子どもたち、部活で走っている子どもたちがいます。喘息のひどかった子供が他県へ移り住んで症状がなくなったという話も聞きました。目に見えない環境汚染に対する取り組みを将来を担う子どもたちのためにも、またこういった原因を取り除くことで医療費削減ともなります。御検討願います。(40代女性)
世界の温暖化になり、異常気象になるまえの対策をしてほしい。(40代男性)
佐賀県は自然に恵まれ農業・バイオ技術にすぐれた県だと思います。自然エネルギーの活用・バイオエネルギーの開発・展開・利用に投資、推進し、日本一の県にしてはどうでしょう。(60代女性)
市の資源ゴミ収集について収集日は月1回でびん類、ワレモノ類もえない物がそれぞれ1回という市があるが、資源ゴミ収集を月2回にするほうが資源ゴミの回収率は上がると思う。また福岡市では(早良区)区役所にステーションを作りいつでも持ち込めるようになっている。市民が出し易い形を作してほしい。(40代女性)
合併(市町村)はよいが、ごみ袋は生ゴミ袋だけであとは金属類コンテナとガラス類コンテナがある小城方式のほうが町民にとっては負担が少なく思う。逆に、生ごみ袋、金属用袋、ガラス用袋に分けるとコスト高だと思ふ。特に金属用、ガラス用袋は袋いっぱいになるまで家のなかにストックしておかなければならないので、小城方式のほうがすばらしいと思う。(50代男性)
粗大ゴミを自宅に取りに来てほしい。高齢者の家では無理。(50代女性)
夜のネオンおよびライトアップの時間規制(70代以上男性)
健全な地球でなければ、人は快適に生活することはできない。佐賀県として環境への数値目標を定め、子供からお年寄りまで環境に対する意識づけをし、1人1人が取り組みやすい体制を気づいていただければと思う。こういった土台づくりをすることにより、“住みやすい(住みたい)県”、“人にやさしい県”へと時間と共に変貌していくのでは…。(30代男性)
他に自然環境の保護を進めるべき。(20代男性)
5 産業
(1) 大型店出店規制・中心市街地再生について
大型店はこれ以上許可しないでください。個人商店はつぶれてしまいます。専門店が生きる道を教えて下さい。(50代女性)
大型店舗が三つもありますが高齢者向けの店が少なく困ります。これからますます高齢化しますので年配向けの店を増やして下さい。(50代女性)
デパートが少ない。中心街がさびしすぎる。(30代女性)
佐賀市内呉服町で良くおばあちゃん達が買物する所が遠くて大変こまるとの事をききます。一度商店を見に行ってもらえれば。(60代女性)
佐賀市内のデパートほか、商店を元気にする。(50代男性)
まちに活気が無く、楽しくない佐賀んまちの中、つい博多へ出かけてしまいます。何となく出かけて見たくなる、佐賀のまち作りをお願いします。(60代)
エスプラッツの開業を1日も早く願っています。毎日の買い物が出来ず困っています。(70代以上女性)

佐賀市内中心部の活性化が希望。農家でもないし、公務員でもないの一般サラリーマンの生活は全く安定してない。大都市だけ、大手企業だけが景気が上向きみたいだけ一般消費者まではまだまだ、特に佐賀みたいな地方都市では…。(30代男性)
最近大型の商業設備が作られています、それ以外の地域では商業活動が枯渇していくのではないかと、各地域に適度に分散して発展していくのが全体としてはいいのではないかと。(60代男性)
県政に対してではありませんが、これまで自分の考えを述べる機会がありませんでしたので、この場をお借り致します。県庁所在地である佐賀市の衰退(特に中心部)は、昔を知る者としては寂しい限りです。呉服町、白山アーケード一帯の再開発案を申し上げます。佐賀県は老人の数が多く、これからも増えて行くと思います。そこで中心地を鶯鴨の町みたいに老人のオアシスにしたらどうでしょうか。毎日を楽しんで暮らしている老人は少ないと思います。いろいろな不安をかかえながら何とか毎日を生きている人が多いと思います。そこに行けば毎日を有意義に過ごせる、たとえば学ぶ場・食事処・お風呂・カラオケ・各種習い事・おしゃべりしたり、お茶を飲んだりできる場…等を作ると良いと思います。大きな施設でなくても今ある建物やアーケードを生かして、雨や雪の日でも動き回れる施設作りはどうでしょうか。回りに各種病院もありますので、人の流れもできると思います。近くに住宅や借室ができて良いと思います。交通の便も良いので良いと思います。安く安全に楽しい毎日を過ごせる場所作りをお願い致します。最近母が長年連れ添った夫(父)を亡くし、家族と共に生活しているのに寂しくて泣きばかりしていますので、生きがいを持たせたいと思い、上の様な事を考えました。(50代女性)
(2) 特産品・観光について
県内観光地アクセス標識をもっと充実させて頂きたい。県道においても道が分かりづらい。(30代女性)
佐賀県には農産物、水産物、観光、歴史、文化財、温泉とたくさんの特産物や名品があります。この特産物や佐賀県の良い所をもっと全国的にアピールして多くの人々に知ってもらい佐賀に来ていただくように推し進めてもらいたいと思います。このアンケートで、知らない言葉や制度が多く出てきましたが、わかりやすく説明してありましたので、大変勉強になり、為になりました。(40代女性)
私は他県出身者ですが、有明海ののりやかきは本当にすばらしい。佐賀牛なみに全国レベルの特産物だと思うのもっとPRできたらと思います。(40代男性)
国内外への観光客の誘致宣伝を推進して頂くようお願い申し上げます。(70代以上男性)
知事はもっと県産物を全国的にアピールするべきだ(有明海の産物 地域の特産物等)(50代男性)
唐津に於いては虹の松原の「白砂青松」を堪能出来るよう、散策できるコースを設けて欲しい。(40代男性)
農業を大切にすることを忘れず、もっと観光のピーアールをした方がよい。佐賀は「いやし」をテーマに温泉・エステ・マッサージetc. その中に佐賀県産の食材を扱うレストランを入れ、JR、ホテルと提携してパンフを作る。佐賀城まで歩いて楽しい町づくり。1つ1つの店やアトリエはステキなものにもったいない。湯布院や金沢とあるものは変わらないのに、どこがちがうんだろうといつも考えています。(40代女性)
温泉 or 観光地等全国にPRしていき発展していったらと思う。(50代女性)
佐賀らしさに光をあてる施策を(佐賀全体(市内であっても)を大和のみちの駅のような場所にする)。佐賀の美味しい農産物は都会で高く売られています。佐賀の人は、それより安価な値で新鮮なものを食べられるはずなのに、スーパーで他県のものばかり並んでいます。佐賀の旬のものを手頃に食べられるようにしてほしい。そして旬のものを、『 』という店で扱っていて手頃に食べられる等PRしてほしい。(30代男性)
(3) 農林水産業について
集落営農推進における各普及事務所の役割徹底を(60代男性)
安全な農産、水産物を提供し続けられるシステム作りをしてほしい。(50代男性)
地球を守るために、それは現在生きている私達の健全な精神と経済活動に対する深い思慮が大切。美しい日本、美しい佐賀へとどんな活動が必要か、しっかり考えて取り組んで下さい。林業を今以上に盛んにして!! 森林に人の手を加え、CO2の減少と美しい水を守り、水害災害から守り、国内産木材で家を建て、まだまだ佐賀県には成長ののりしろがありそうですね。(70代以上女性)
昔食べてたおいしい米が食べられるように自然農法を確立して欲しい。(40代男性)
(4) 企業誘致について
厳しい情勢下中で働くにも仕事場が少なく失業者が多く見られるような状況で雇用対策に企業誘致を図って行く必要がないかと考えられます。(70代以上男性)

企業の誘致。(30代男性)
県の勢いは人口の増加策によりなしえらと思います。企業の誘致に努めて下さい。福岡県が良い例です。(50代男性)
企業の誘致に力を入れる。(50代女性)
6 雇用・労働
(1) 雇用について
離職者の再雇用、労働や若者の就業を真剣に考えて欲しいものである。(50代女性)
団魂の世代の停年も間近です。年金が出るまで働ける場所を提供してください。(50代女性)
問24、25との関連で ・フリーターとかニートなど特別視することなく年齢制限も15～65歳以下とし、リストラや定年退職者(これから団塊世代も増加)の増加など広範囲の総合的雇用、就業対策を講じたらどうか？ ・英国ではすべて雇用求人に際しては65歳以下と法律で義務化(罰則を含む)しているようである。 ・若年層は高度経済成長期同様現今の少子高齢化が続く中で売手市場である。その点中高年の職場(特に男性)が少なく失業者は増加している。 ・企業の定年制の見直し、製造工業の積極的誘致の展開などなど、行政の企業指導、強化が望まれるのではないかと。(70代以上男性)
企業、就職出来るチャンスがあまりにも少ない。(40代女性)
県内企業の雇用は低いとっております。雇用の向上を目指してほしい。特に若者の雇用をふやすようにしてほしいと思います。(50代男性)
小城市は働く場所が少ないので働ける企業を作って欲しい。市内の方ばかり大型スーパーなどができているけど、私は親もなくなって、一人暮らしをしていて家賃など払っていくのがせいっぱいで、車などの資格も持っていないので、働ける場所といえば自転車、徒歩に限られていて、なかなか仕事をさがすのに苦労します。市内の方を探せば電車代、バス代など、遠くになればなるほど賃金も安いのに交通費がかかり大変です。それに市内の方の仕事をさがしても、やはり、雇う側にしても近くの人を採用しているようです。小城市にも働ける場所を作って欲しいです。(30代女性)
生活の安定(失業不安)(50代男性)
学校を卒業した若者が失業せぬよう雇用の場所拡大をしてほしい。(50代男性)
40才以上でも正社員で雇って欲しい。(30代女性)
ニート、フリーター、障害者の授産所、職場を増やして欲しい。県民の相互扶助としての活気ある県になって欲しい。(70代以上女性)
若者の職探しを手助け出来るよう、企業に働きかける。(50代女性)
問20、問24にも関係があると思うが、佐賀県で若者(高卒大学卒)の人達が働けるように企業をふやしてほしいと思う。もっと若者達の意見にも耳をかたむけてほしいと思う。(20代女性)
定年をきちんと守り、若手に職場をゆずるべきではないか(国会議員にしてもしかりである)。(60代男性)
働く場所の提供が少ない。年齢の高い人達の働く場がない。若い人達の働く場が少ない。(50代女性)
(2) 労働時間・賃金について
労働時間短縮について県政で協議してもらいたい。(20代男性)
個人企業(事業所)の多い県だと思います。ボーナス・給料・賃金・退職金etc...もらったりもらわなかったりの格差があり、全国的にも低い料金だと思います。地元のことを考えた県政にしてほしいです。(50代女性)
公務員と民間企業(中小)との所得差をなくしてほしい。(50代男性)
労働時間が長く(残業)子育てを妻にまかせっきりなので、労働時間の短縮など企業の方へ積極的に指導してほしい。(20代男性)
仕事の賃金が低い。どうにかしてほしい。県民になるために!!(50代女性)
大企業が佐賀県内にも進出しているが、コネや求人募集の面で不透明だと思う。給料なども他県に比べて非常に低い。中小企業ならともかく、大企業がそれならば『働く』ということに疑問すら出てくる。(20代男性)

7 県政その他

(1) よりよい佐賀県づくりについて

より良い佐賀になるよう充分よく考えて努力して下さい。(20代女性)

他県に比べて、ゆったりとした地域性のため、とても暮らしやすいと感じています。過密な都市になりすぎないよう、それでいて過疎化しすぎないような取り組みが大切だと思います。(抽象的な意見で申し訳ないですが…)今の佐賀県の良さを残せるような県政を期待しています。(20代女性)

がんばりましょう。このままだと佐賀はダメになります。今以上にです。大型のスーパー、ショッピングセンター、アミューズメントパークではダメです。佐賀でしか出来ないことは何ですか？金があれば福祉系や産業、文化、交通いろんなことがより良くなります。期待しております。よろしくお願いします。(20代男性)

佐賀県は他県に比べ私は立派と思います。(70代以上男性)

佐賀県がナンバーワンになることを目的とせず、一流になることを目指すべき。1.景観。(特にゴミ対策)2.ボランティア活動。3.挨拶の慣例化。(声をかけ受け入れる)4.勿体ない運動の促進。5.自然保護6.高齢者を大事にする県。(60代男性)

若者の雇用、企業の発展の為に税金を使ってほしいですね。県民が元気でないと明るい政治は希望できません。箱物はもう作らないで必要なものを検討して下さい。お願い致します。(50代女性)

交通基盤より、防災、防犯、福祉に力を入れて欲しい。
県の特徴を考慮した県政を行ってほしい。(アンケート結果だけでなく、データ等も例えば他県に比べ高齢者割合が高いなら、高齢者対策を考慮した防災や福祉など)(20代男性)

どのような事情をかかえている人であろうと、快適に安心して生活していける県づくりをしてほしいと思います。(40代女性)

今住んでいる鳥栖は生活圏が福岡にむいているので、あまり影響を感じない地域です。仕事も、学校(高校・大学)も全て福岡です。よそからきた人が多く住み、縦、横の関係は希薄です。転入してきた人が親しみのもてる行事や、それに参加する為には、どうしたらよいか、情報を、転入届をだした市役所で最初に教えていただければ、親しみを持てる様に思います(50代男性)

佐賀県が県民一人一人を大切に、自然豊かな県であり続ける事を心より祈っております。(20代女性)

ずっと佐賀に住みたいわけではないけど、生まれ育った街なので、私の故郷は佐賀だけだと思っています。だからもっと色んな面で佐賀を良くして行って欲しいです。面積も小さい、人口も少ないということはそれだけ小回りのきくということだから、大げさにいえば一人一人にキメ細かな対応ができると思います。(20代女性)

自然環境はとても良いのですが他はとても住みにくい。物価も高いし、住居(家賃も)高いし、税金も高い。(50代女性)

これから少子化高齢化の時代になります。年金、医療、環境問題にそれと介護問題等を充実、改善等宜しくお願いします。(50代男性)

県民のモラルの低下はひどい！((例)どこへ行ってもゴミが捨てられて大変汚い。それを誰も知らんぷりしている。)
地域の人を巻き込んで”美しい佐賀県づくり”進めるため、県が音頭を取って真剣にやるべき。特に学生等へのモラル向上のための教育は、徹底すべきである。今年は高校総体があるというのに、スローガンだけが叫ばれて、実効が全く上がっていない。(60代男性)

これからの佐賀県がよりよくあります様にながらばして下さい。ありがとうございました。(40代女性)

人口80万、狭い面積等、何かにつけて効率的でなくいろいろ努力されているだろうが、発展の方向が見えない。隣県にお願いして分割の上、吸収合併してもらった方が今より発展が望めるのではないのでしょうか。(60代男性)

大阪からUターンしましたが、仕事をさがす時に大変でした。交通機関も不便だし、必ず車と免許は必要だし…賃金も低いですね。でも、保険料とか全国的に同じ額の支払いは有。都会で家賃払って…大変でもありましたが、楽しい事も多くて。楽しみ…になる事が少ない(無いに等しいかな)(40代女性)

子供達の楽しみであるブラックバスの釣禁をなくしてほしい。たった4票(子供の人数)ですが、将来知事選挙には行きたくない…とも言ってます。子どもたちの遊べる施設(管理釣り場とか)をもっと増やしてほしい。森林公園にはムリなのではないでしょうか？(40代女性)

<p>これからも、県民の為に住みよい佐賀県であって欲しいです。全国的にも知名度は低いですが、活気ある”佐賀県”であってほしい、佐賀県の一人として誇りのある佐賀県民でいたいです。(40代男性)</p>
<p>唐津の住人は私を含めてデパートに買い物に行ったり、コンサートに行ったり、映画を見たりするときは佐賀市ではなく福岡市を利用している。理由は地元では満足できる施設も企画もないし、福岡市へ行くほうが交通の便が良いからである。唐津ー福岡の区間の高速バスはほとんど満席です。北部九州は今後、益々福岡市一極集中になりそうです。ので、長崎新幹線の開通を契機に福岡県、佐賀県、長崎県をひとつとした広域自治を考えたほうが発展するのではないのでしょうか。(50代男性)</p>
<p>牛津を発展させてください。(20代女性)</p>
<p>市政との関わりは多少ありますが、県政とのかかわりをあまり感じることはありません。あまり他県(福岡・長崎・熊本など)の様子にまどわされることなく、佐賀県は佐賀県なりの住み方をすれば十分と思います。(40代男性)</p>
<p>低所得で妻に働いてもらう家庭が多い様ですが、夫の家庭への責任感が低く、妻等の(母親)負担が多いと思います。家事・育児・仕事、女性は男性の数倍働いていらっしゃる家庭が多いのに、男性は低所得なのに家庭を顧みず、飲み会・風俗に遊びたいだけ遊ぶ人が多い。もっと家庭の大切さや女性に対する接し方等教育させるべきだと思うし、離婚した友達等慰謝料・養育費を払う男性が少なく、女性一人で働き子供を育てていて苦労している人が多いので、男性への教育(家庭のあり方)をするべきだと思います。他県より男性のモラルが低いし、子育て中の主婦への負担が多い。(30代女性)</p>
<p>「県民の満足度向上」の為に強力な推進を期待しています。(60代男性)</p>
<p>これから高齢者になり、なにか身体的な問題がおきてくると思います。そのとき家族に迷惑がかからないようにするにはどう対処したらよいのか。先行きは不安でいっぱいです。現に主人が脳梗塞でもう4年間食べる事も言葉を発する事もできない状態で今の所車に乗れますので20分かかる病院毎日顔だけは見に行っておりますが商売をしておりますのでなかなか思う様今のご時世赤字です。小売業がもっと元気で生活出来るてだてがないものかと毎日がんばっております。よろしくお願い致します。(60代女性)</p>
<p>住みたい県土づくりへの取り組み(少子化・高齢化を見通した各種施策の推進をお願いしたい)(60代男性)</p>
<p>いろいろと一生懸命なさっていることは理解できます。年令と共に佐賀県をアピールすることが出来るようになりました。電車で買物は福岡に行くことが多いです。夜は佐賀県に入ると真っ暗でさびしい気分です。観光的には良い所がたくさんありますので、地域でイベントを起こすなど県民にも伝えてほしい。知らないことが多すぎる。福岡・長崎を利用して拡大していく方法もあります。(60代女性)</p>
<p>お役に立てる意見を提供できずすみません。佐賀、特に今住んでいる鳥栖はとても便利なので好きです。(30代女性)</p>
<p>佐賀らしいまちづくり、日本人の心がいきづく社会を目指してもらいたい。都市部にて、ただ表面的な、一過性、ただの自由競争が目立ち、これらが県内にもでてきている。ドライな付き合い、取引きではなく、人々の心、地域における役割を重みづけした社会を目指してほしい。(40代男性)</p>
<p>住みよい生活を送りたい(50代女性)</p>
<p>私は国民年金生活者です。主人はいません。2人で合計する位でならゆっくり暮らせるでしょうけど、60才で支払い終わってすぐ病でなくなり、寡婦年金を5年間(?)もらいました。その後65才から私の年金を頂きましたけど、少し不満があります。サラリーマンは主人の受ける半分は妻にくるようすし、私の主人も払うだけで貰っていません。半分の3万でも出ると出ないのでは違いますよ。給料取りと余りにも差があると思います。田畑、家売ればと云う人もいますよ。その金でこの先何年暮らせるでしょうか。子ども達にめいわくかけるし親せきの義兄弟姉妹の噴りを思うと今のままでじっとしているより仕方ないでしょう。田舎暮らしにはそういう人がいっぱいいますよ。役場にいてもサラリーマンで関係ないですから……。税金も佐賀市は高いです。企業誘致などして家庭のふたんを少なくしてください。企業や国の施設、県の色々の行事をするのを中央の開発ばかり云わないで地方こそ昔のイメージから抜け出して行きたいです。まだまだTV、新聞の様には地域社会は発展していません。田舎は上下(人間)関係が今でも強いのです。意見は云えません。独り言で我まんしています。昔の嫁姑問題は似たような事は今も根付いています。以上私の一人言と意見です。(70代以上女性)</p>
<p>佐賀の発展を期待しております。(40代女性)</p>
<p>まず子供を育てるのは家庭、家族。親が地域に交わっていないのに子供が出来るわけないと思う。ニートだったと思う。本人が働く気力がないのは親がそうさせていると思うのですが…。(40代男性)</p>

<p>佐賀県の特性を客観的に観て、他県に追従する事なく必要外の建物など作らない。地球環境を少しでも良くするため必要以上の車の運転をやめ自転車等使用。勤務前汗を流すシャワー室を設備する(役所企業)。物を作るのが文化とは云えない。日本人の品性、伝統文化、そぎとった美しさが根底にあることを忘れないで伝えて残したい。恥と云う言葉が死語にならないように。老人はデイセンターへ障害者は施設へときれいに振り分けられ、本来の土地に根ざした生活は混とんとしていても味のある温かみや思いやりが生まれる場所であったのに認知症をうみ、心の荒れた子供が増えるのは人らしい暮らしが失われたのは薄っぺらなまがい文化がなせるものない。(60代女性)</p>
<p>もうすぐ子供も生まれますので、育児環境のことなどは気にかかります。今のところは、住みやすく、自然も残っているこの街が気に入っています。これからも、住みやすい街づくりに頑張ってください。私も一住民として、ご協力できることがあればしたいと考えています。(20代女性)</p>
<p>佐賀県に住んでいてあまり佐賀には行かないけど、昨年有明の干潟と市内へと老人会で佐賀をゆっくり見学させてもらいました。こんなに知らなかったと思いました。住民が安心して暮らせる佐賀県をお願い致します。(70代以上女性)</p>
<p>モラルの欠如:老若を問わず今日の日本人のモラルの欠如は?まず、ポイ捨て。タバコ、空き缶、空きビン、紙くずなど。これらは罰金で処罰すること。高額な罰金で処すること。粗大ゴミはもちろんのこと、ポイ捨ては5万円、粗大ゴミは10万円位は、他の罪との釣り合いが取れないかもしれないが、今の日本人には注意くらいではダメ!高額な罰金を地方から発信を!(70代以上男性)</p>
<p>佐賀県は住みやすい所だと思いますが、高齢者や弱者が安心して暮らせる街になる様に頑張ってくださいと思います。佐賀は子供が遊ぶところが少ないと思います(特に佐賀市)南部は公園が少ない上、遊具もきちんと点検されている様には見えません。県の方ではないとは思いますがよろしくお願いします。(30代女性)</p>
<p>県は豊かな自然環境を守り、住みやすい生活環境の整備、医療、福祉、教育、農漁業などに力を入れ、大型開発事業はするべきでない。「田舎県の住みやすさ日本一」を目指したい。「毎日の暮らしに密着した県政」であって欲しい。(60代男性)</p>
<p>今、若い人が無人の借入で簡単にお金を借りている人が多い様です。無人の借入施設を取りのぞく事はできないのでしょうか?お金を借りるといことがどんな事か、もっと教育してほしい。(60代女性)</p>
<p>私には大変難しく色々考えることが多く、少しでも何か答えが出てきません。でも、これから「県民の方々が住んで良かった」という県政をお願いします。(50代女性)</p>
<p>田んぼにはレンゲ草を植えて(レンゲ草はすき込む)見る人の目も楽しい。(40代男性)</p>
<p>言い方がおかしいかもしれないが、はなわさんが佐賀をメジャーにしてくれたような…。出身が佐賀だと言いたくない人もそれまでは多かったらうけど、随分言えるようになった人が増えたと思います。(私だけの考えかも)もっともっと胸を張って全国の人に出身は佐賀だと言えるように、活気ある住みやすい、住みたい、ステキな県になるといいな。私は佐賀が好きですよ。手頃な田舎だから疲れやすいです。県政頑張れ!!です。(50代女性)</p>
<p>日頃佐賀県民の意識がうすく、又仕事と家庭と忙しく、いろいろ考えるキカイになりました。住み良い県になって行く事を願っています。(50代女性)</p>
<p>老人、子どもにやさしく住みよいこと。教育に金がかかりすぎ。医療費・介護費・障害者負担多い、etc。・百年の計の都市計画を策定したい。(60代男性)</p>
<p>無理に背伸びせず、田舎の良さをキープして欲しい。・自然や動物(生き物)に対して、優しい心配り気配りの出来る県であって欲しい。(40代女性)</p>
<p>県が良くなるには県民全体の協力が必要だと思います。(60代女性)</p>
<p>他県の人を市内に連れて行くと皆びっくり。市内をどうにかしてほしい。雇用の問題と賃金の安さ。私の息子も他県の方が住みやすいと、他で所帯をもちました。(50代女性)</p>
<p>古川知事を中心に、明るい住みよい佐賀県にしてほしい。(60代女性)</p>
<p>親子3代同居して生活して居りますので、何とか便利に暮らして居ります。生活環境の美化について思いますけれども、道路の煙草の吸済のポイ捨てなどこうした事がキレイになれば、心の教育もよくなるのではと思います。(70代以上男性)</p>

5年間佐賀を離れて、昨年戻ってきて、現在、就業学生ですが、雇用の面でも学生の面でも納得のいかないこともありました。田舎だから仕方ないと言で終わらせたくないと思いました。街になれとは言いませんが、目に見えるところばかりでなく、根強く残っている体質を変えていかなければいけないと思います。市の合併で変わったのは名前だけだと言われたいのためにも、生まれた県が好きです。だから余計になさげなく思いたくないのです。よろしくお願いします。(20代女性)
佐賀県が住みよい県になります様祈ります。(70代以上女性)
全てが素晴らしい佐賀県になるように願っております。(50代男性)
(2) 広報について
県政の情報をテレビで夜の時間で知りたい。(50代男性)
全国的に未だ佐賀県の認知が少ない 県をもっとアピールすべきと思われる。(50代男性)
県知事の秘書室で常に知事の考え方や政策をブログ等で広報していただきたい。従来の広報は分かりやすいが、詳しくはわからない。きちんと理解されるためにも省略のない情報を流す方法も考えてほしい。(60代女性)
唐津市在住のため「佐賀」というより福岡へのアクセスの機会が多い。県庁所在地である佐賀市をもっと元気にしなければいけないと思う。イメージが「クレークが多い、蚊が多い」という悪いイメージが強すぎる。(40代女性)
佐賀県を一つの国にできればいいと思います。国内のみならず、国外にもSAGAブランドをどんどんアピールして世界のSAGAになるように頑張ってください。私も頑張ります！(30代女性)
もっと地元をアピールする取り組みが必要だと思う。(50代男性)
佐賀を知ってもらえる様広報活動を更に強化してほしい。(70代以上男性)
宮崎県知事が今話題になっておりますが、佐賀県も自慢できる農産物、食材の宝庫でもあります。もっとアピールできればいいですね。(50代男性)
県政情報(テレビ)をNHK、ローカルに入れてもらえませんか？古川知事様のご活躍を新聞やテレビで見せてもらっています。80万県民の期待を背負って大変ですが、マニフェストの充足、オープン、現状、県民協働の目標はおおよそ県民に支持されていると思います。健康にご留意されて頑張ってください。(70代以上男性)
県政だよりに県民税に対する職員数、他県との比較を提示されたし。(60代男性)
毎日の暮らしに役立つ身近な情報等を発信してほしい。(50代女性)
(3) 公共施設について
公共施設の利用を地域別に区切りごとがなく、佐賀県民であれば同じ料金で利用できたらと思う。(図書館、温泉、地域の体育館等)(50代女性)
県民パスポートの発行による公共施設の無料利用化 災害時における迅速な公共施設等の利用 (50代男性)
鳥栖市には子供が清潔に遊べる公園が少なすぎる。園庭開放は日時が指定されていて不自由だ。市民文化センター横の公園は草ボーボーで、ベンチも壊れていて、浮浪者がいて、とても子供を連れて散歩に行けるような環境ではない。(30代女性)
(4) 国際交流について
外国人留学生に対する支援が打ち切られているが姿勢としておかしいのではないか。(50代男性)
留学生を多く受け入れて日本の文化を知ってほしい。(40代男性)
佐賀では外国の人をよく見かけるが、実際交流の場が少ない。わざわざ外国に行かなくても、身近にいる外国の人と関わり、異文化を学ぶ場が欲しい。(30代女性)
(5) 市町村合併について
合併における余剰庁舎の有効的効用を県サイドから指導されたし(60代男性)
市町村合併後における各自治体に対する生活基盤を支える援助活動の充実(施策・予算の援助)(60代男性)

旧町村の活動状況が鮮明でない。月報(市報等)で知りたい。(70代以上)
町村合併が進むと共に市、県の財政が厳しいのか、これまで旧町での伝統的イベント(伝統的に意図して継続してきたもの)が中断され、周辺旧町村はますます元気をなくしている。投資的事業の激減、特に生活道路、生活箱物(公民館、福祉センター)の置き去りが淋しい。(60代男性)
近頃合併により生活が負の方へ流れている事が多々ある様に感じられるのは、私達貧乏人だからでしょうか？エンゲル係数が上がってくるのは？(70代以上女性)
白石町在住ですが、合併後あまり良い事がなくその不満をまわりからもよく聞きます。財政等が厳しい等が合併の主な理由だと思いますが、もう少し町民の声をきき、説明をして町政を行ってほしいと思います。現場の声が上に届く事はあまりなく、とにかく「財政が苦しいから」という事でおしつけた印象ばかりが残ります。大切な所に使う少額のお金をけずり、あまり必要がない様な大きなお金をドンと使う。という感じがします。又、住民のサービスとって、一番犠牲になっているのは子供達の様な気がします。病後保育をするのではなくて、病気の子供を母親・父親がみてやれる職場の環境作り力を入れるべきだと思います。子供達がかわいそうです。(40代女性)
(6)税金について
サラリーマンの税負担が大きい！(40代男性)
税金が高すぎる。(70代以上)
自動車税の減免について。減免を受けている人が自動車を買替える時に自動車税を払わねばなりません。理由は二台も減免はできないということです。ならば買替えた後で還付できる制度にする事はできないのでしょうか。現在は還付の制度はないと言われました。以前に所有していた車を廃車した後に還付請求をできるようにすれば良いのではないかと思います。これは素人考えでしょうか。(70代以上男性)
税金を減らしてほしい。(70代以上女性)
(7)県政のあり方について
全員が納得することは不可能でしょうが、透明性を持たれて、予算を使いきるための無駄なことはやめてがんばって下さい。自然いっぱい佐賀県が大好きです。(30代男性)
現在の県の施策は人気とり的なものが多く感じられる。一部の人々の意見を採用するのではなく、実質的に効果の期待可能な事を実施すべき！！(60代女性)
実態把握的確さとスピード又処理の迅速さ 若い世代の規範意識の低下、モラルの低下に対する対策をとった方がいいと思う。県民の実態に根ざした地味な政策を望む。(50代女性)
国民の義務の一つとして納税があります。我々すべての県民は停年までしっかりと隠し事もなくサラリーから納税しています。県民(国民)からの預り金を有効に使って欲しい 県、市、町の職員は自覚して財政運営にかかわること(隠し金などとんでもない) 知恵を出して無駄を無くすこと 何事も納税者が納得するか？と考えて諸事業に従事すること 公共的な仕事に従事する人々の意識の向上で郷土も国も良くなると思います。(70代以上女性)
もっと貧乏人の苦勞をわかってもらわないと！頭が良いのか悪いのか、「住みたい県日本一」笑ってしまう！！もっと目をむけなければいけない所が、沢山有る！！(40代女性)
知事がかわってから、情報公開については、以前よりもずいぶん透明になったと思う。(40代女性)
県全域の広範囲ですので地域性にとらわれず出来ること(資金のいらぬ分野)からこつこつと整備してほしい。(60代男性)
財政状況も悪いと伺っていますので、無駄をなくして、スリムな行政を行って欲しいものです。(50代女性)
県政について、今まであまり考えたこともなく代表者が、それぞれの立場でがんばって下さっているので、おまかせして、安心という感じでしたが、いろいろな問題も多いと聞きます。県民それぞれいろんな考え方もあり、統一するのは大変困難なことでしょうがいろいろな声に耳を傾け、一番良い方法が見つかるよう、とことんつきつめて、納得のいく県政をお願いします。お疲れ様です。(50代女性)
県民の安心感と信頼を持続させて下さる事を期待致します。(50代女性)

<p>県の財政事情は大いに分かる。しかし弱者(高齢者、障害者…)の立場で予算カットすべし。機械的に市町村の意見を無視した行革をしている。 政策として県中央、東部ばかりに目を向けるのではなく、鹿島含め、県西部へもっと目を向けるべし。普段そういう考えがないから某市は反対するのでは！！(50代男性)</p>
<p>県内で赤字債権団体がでないよう。(30代男性)</p>
<p>県政についてはこのアンケートだけでなく自己点検・自己評価すべき。(50代男性)</p>
<p>きびしい現実の中できびしさを共有しのみこえるつもりです。ただし、正直ものがそんをする社会があってはなりません。その点特によく取り組んで県政を進めて下さい。(60代女性)</p>
<p>1個人の立場になって県政をやってもらいたい。(50代男性)</p>
<p>国を愛し、県民を愛し経済だけでなく教育的立場にたつて、親子が手をたずさえて物事の困難にたえ得る人材をそだててほしい。自由の名のもとにあまりにも家庭のみだれがいちじるしい。これでは国、県のきずなもみだれ、目にあまるしゅうたいである。昔若者が戦場に散った、その精神、つねづね人に交わるに温和をもって第一とし、庶人の愛敬をえんと心がけよ。これが県政に対する意見である。(70代以上男性)</p>
<p>県民の意見を尊重してほしい。(県民投票等)(50代男性)</p>
<p>第2の夕張市にならない様、税金の無駄遣いをせず、しっかり市民の声を聞いて住みやすい県にしていってください。(40代女性)</p>
<p>学生の時に 年に 人生まれた。これからは少子化、高齢化というのを前から調べて分かっているのに対応とか制度が厳しいと感じたり、知ったりするのでその調査を生かせないと思う。個人情報保護法があるのにDMとか広告が家に来るのはおかしいと思う。(20代女性)</p>
<p>県民の事、ホントに思ってます？ホントの声、届きます？(50代女性)</p>
<p>私も重要かつ専門的な案件の住民投票には反対です。むずかしい判断をせまられる場面も多いかと思いません。(50代男性)</p>
<p>他県にいる知り合いなどに言われます。地味よね、イメージがとか、悪いイメージがあるよね。県庁なんか！と言われるのはやっぱり恥ずかしいです。(40代女性)</p>
<p>住みよい県に向かって県民の意見を多く聞きだして下さい。(50代女性)</p>
<p>県の色々な支援センターなどがあるが、全く機能しておらず、大変レベルが低い。本気で佐賀の産業を活性化させようとするなら、他県出身者等、スペシャリストを雇って、意識を高めてほしい。(30代女性)</p>
<p>現在の県政は国のほうばかり見ている印象。新幹線やプルサーマルも県民に対する対応が不十分です。「県内の建設業者のためです」とか言った方がまだ分かる。そしたら賛成できる面もある。県庁には本当に県民の為に頑張っている人も多いと思うが、県の姿勢が悪く伝わってこない。今回の早稲田の件も大隈公は鍋島藩だと思うけど…本当に県民のことを考えている人が県政をするべき。国や長崎県やお金や選挙のことばかり考えているような人はだめだと思ふ。本物の県庁マンがんばってください。(たぶんこれは公開されずにボツでしょう。自由意見の欄に載ったらフェアな県庁と思います)(40代男性)</p>
<p>佐賀県は、とてもよいところです。県民は信頼しています。私は県政よくやっていると思います。給料は安く、税負担はどんどん増えつつあります。無い予算からやっ行って行かなければならないから担当者も大変だと思います。町民税が高いのに図書館すら無いのです。道州制についてよくわかりません。合併して税金や水道料、浄化槽費用が高くなるなら今のまがよい。</p>
<p>県民の意見に耳をかたむけ、県民が望む県政であってほしい。(40代男性)</p>
<p>佐賀に本当に必要か必要じゃないかを考えて、県政を行ってほしい(ダム、プルサーマル計画等)(30代男性)</p>
<p>県西部、伊万里市は県政の恩恵を全く受けていない。空港、新幹線、県立病院は関係ない。県立博物館や図書館、体育館、運動場も利用できない。中高一貫は武雄と唐津で止まってしまった。 反対に、伊農、伊商はなくなろうとしている。アバンセヤ(新聞社だが)カルチャーセンターも遠い。施設が少ないので、今年のインターハイもマイナーのホッケーのみだ。原発事故の危険だけはすぐ身近だ。県民税不払い運動を起こしたい。(60代男性)</p>
<p>パスポートの申請を土日もできるようにしてもらいたい。(50代女性)</p>
<p>ムダな金は使わない。万人が満足する政治は無理(自己中心者が多すぎる)(男性)</p>

<p>問い合わせや、情報など県の代表(連絡先)を表示してもらいたい。(例えばコールセンターなみに)してほしい。担当廻しはしないでほしい。(60代男性)</p>
<p>さまざまな努力をされていると思いますが、目に見えてよくなったと感じるものが私自身よくわかりません。それよりも、県民の為と言いながら、県職員やそれにたずさわる人達の方がいるんな面において優遇されることが無い様お願いしたいです。(30代女性)</p>
<p>初めての経験です。ご質問の中で、施策について全部実行するとなると、税金がものすごく高くなるのではないのでしょうか。国民が県民がもっと自分たちのことは自分ですという意識をもつべきだと思います。また、「預け」などの問題が他県で発生していますが、これは「単年度」主義という制度が悪いと考えます。この改革を県が先頭に立って実行して下さい。(70代以上男性)</p>
<p>知事は新幹線のことやダム、諫早締切、ブルサーマルについて県民の考えをアンケートしていただきたい。(70代以上女性)</p>
<p>今後とも、県政、その他各種情報化を積極的にすすめて下さい。(70代男性)</p>
<p>知事がブルサーマルの安全性を簡単に認めた事は、県民の安全性に責任を持つ県政とはとても思えず、一事が万事、交通にしても医療にしても責任ある政治をしているとは思えない。新幹線や高速道路を造る金があるなら、小学生が安心して通学できる歩道を早くつくって欲しい。(70代以上男性)</p>
<p>県庁内のいろんな無駄を無くして、一人一人が自分の仕事をしっかりして欲しい。(50代女性)</p>
<p>積極的に県民の声に耳を傾け、有意義な意見等とり入れて活力ある県になるよう期待しています。(50代女性)</p>
<p>県庁のすぐ西に住んでおりますが、深夜近く迄殆ど毎日灯りがついて居りますことに疑問を感じます。県民のために働いて下さっていると思いますが、電気料は大変でしょうと言う声もききます。(70代以上女性)</p>
<p>県の重要な決定事項については、住民の意志を反映出来るような手段を講じてもらいたい。結論を早く出し過ぎないように(発電所、新幹線、城原川ダム等・・・)(60代男性)</p>
<p>県民の意見等をよく把握し、1人1人がよりよい佐賀になる様、県政(市長・知事・議員・公務員)に引っぱって貰って貰える様お願いしたい。(40代男性)</p>
<p>財政面で使うべきところに有効に使うべし。(60代男性)</p>
<p>県政は佐賀市中心にお考えですか？そういう風に見えるのですが・・・。他の市・郡・町の事も考えて下さい。今の知事になって佐賀のイメージは明るくなったと思います。(40代男性)</p>
<p>古川知事になって県政で今何が行われているのか、分かりやすく身近に感じられるようになった。県の施策には多方面の立場からの考えや利害があり、県民全員が納得することには無理のあることが多々あると思う。しかし5年後、10年後、30年後の県の姿の見通しをはっきりと提示してもらえば、県民はついてくと思う。自分に関与しなければ無関心という世の中だが、だからこそ透明度の高い情報を流して県民の関心を高めてほしい。ブルサーマル問題、長崎新幹線問題、と当面の課題は山積みしているが、35人学級を決断し予算を通した県の行動力に今後も期待している。(40代女性)</p>
<p>県勢浮場には、国家間で云う所の、外資を稼ぐ為の観光が一番大事であり、県民からの意見やアイデアの必要性が居るとの、つまり県民と共に考え様との姿勢が見られない。若者の就職先が無い状況を打開する事が先決であり、こちらに関してのアイデアに斬新さが見られない。高齢者が困窮する、日々の消費生活や身近な交通事情に全く触れて居ず、迫り来る少子高齢化の県民の目線から、大きく逸脱している。(60代男性)</p>
<p>私は4年前に大分県より嫁いで来ました。古川知事様、職員、そして県民一体となって“佐賀県”だと云うカラーを出せる取組み及び意識を持って行ってほしい。武雄市の樋渡市長さんも“がばい”で頑張っておりますので、ご支援の程宜しくお願いいたします。佐賀は自然、風土、文化、県民性が素晴らしいと思います。期待しております。(40代女性)</p>
<p>将来、都道府県合併又は道州制になる時、他の県のお荷物にならない様な県になって欲しい。又、合併等を見据えた県政もこれから必要とされる時代ではないでしょうか。(60代男性)</p>
<p>今以上には地方出先庁舎等を減少させない。(70代以上男性)</p>
<p>若い人々が興味を持つ政治をご苦労が多いと思います。負けずにがんばって下さい。(20代男性)</p>
<p>他県への追従が過ぎる。協力はしていくべきだが、もっともっと独自の取り組みや構想があって然るべき。(30代男性)</p>

(8) 不祥事について
警察を含む裏金作りは0になったのか公表すべき。(70代以上男性)
ウラ金ない?(30代男性)
今、行政に対する不信感が他県の不祥事によって高まってきています。佐賀県におかれても、このような不祥事(官製談合、ヤミ手当)はないと思いますが、疑惑のないような行政をお願いします。(50代女性)
裏金問題はどうなっているか?きっとあるはずでは?(50代女性)
昨今の県職の飲酒運転事故・JAのお金の使い込み、一応佐賀の看板を背にしょってる立場の人間だから市民の期待を裏切らない責任感を個人個人が自覚してほしい。長たる者の責任大と思う!! 選管も同じ事を再び繰り返さないで。税金のムダ使い.....今年も選挙の年だから。(60代女性)
汚職に注意。(70代以上男性)
(9) 知事について
知事定年制(又は有期制)を検討すべき“駿馬も老いれば駄馬に劣る” この制度を佐賀が発案し全国知事会にかけろ。(60代男性)
現在の県の情報の発信内容にカタカナ表記が非常に多い。知事は県民の目線に立った施策を実施すると 言っているが、県民が理解できない文言を使った伝達で正しい意志が伝わるのか疑問です。横文字が多すぎ て今はまるでアメリカ大統領の話聞くようで実感がありません。どうして、そんなに横文字を使うのですか。知 事は本当の平均的な県民の知識水準を知らず、霞ヶ関や永田町向けの言葉で話しているのではないです か。(50代男性)
知事の指導性が強権になってきてはいないか。(70代以上男性)
古川知事一期目だが、やや期待はずれの感あり。知事の考え方に職員が理解を示してないところあり、職員の 側からもっと知事へ進言すべきと思う。又、知事も自ら現場へ入り込むべき。(プルサーマル、新幹線・周りか ら見ていてイライラする!)(50代男性)
古川知事に大いに活躍してもらいたい。プルサーマル、新幹線で一部反対意見もあるが信念を持って方針を 押し進めてください。(70代以上男性)
県知事は県民の声を良く聞いてほしい。(70代以上男性)
古川康知事、自分の信じた事を十分に発揮してください。健闘を楽しみにしています。長崎県に住んでいて佐 賀に帰り、いろんな面で遅れている部分が見られます。古川カラーを出して下さい。この文章が直接知事が見 て下さい。(50代男性)
県知事が独断で決めることが多く、不快を感じる。? プルサーマル ? 県病院移転 ? 新幹線 ? 城原川ダム 議会制民主主義とはいえ大切なことは県民に問うべしが原則。(60代男性)
知事等の退職金の大幅減額を実行せよ!!(60代男性)
もっと、もっと、古川県知事がもっともっと人と人とのつながりについてももっともっとしんげんに考え声を聞いてほ しい。(70代以上男性)
現知事は活動的なので満足している。(70代以上男性)
古川知事殿 プルサーマル、九州新幹線等、県民の声を本当に聞いていらっしゃいますか?あなたのされて いることはポーズだけの様に見える仕方ありません。私は佐賀が好きです。この大好きな故郷の事を本当に考 え、行動に移される方に、今度の知事選挙、投票したいと思っています。(20代女性)
新幹線、玄海原発に対する市民の声を聞こうとしない知事の姿勢は、一方的であり共感できない。というより、 危機感を覚える。(40代男性)
知事は中央(国)をむいて仕事をしている様に思えてなりません。全国で一番とかそういう姿勢ばかりが目につ きます。田舎は田舎で良いじゃありませんか。宮崎県知事に初当選された東国原知事のように県民に向かって 目を見ひらいて下さい。(50代女性)
古川知事になってから佐賀県が少しずつ良くなってきているように感じています。応援していきますのでこれか らがんばってください。(30代女性)

長崎新幹線、プルサーマル(玄海原発)計画の是非を、広く県民に問うて県民の民意を生かす様にしてもらいたい!! 佐賀空港と同じ赤字のみが増え税金投入が増大し(特に新幹線)、余り県民の大いなる必要性に欠ける様な設置はしないでと切に希望する。(私の周囲は皆怒っている) 古川知事よ、県民の生の声をもっと聞いて欲しいです。(60代女性)

(10) 職員について

県庁出先職員はていねいな対応をしてくれるようになってきている。
しかし県庁内に行くと県民目線ではないように感じる。(40代男性)

県政に限らずですが、窓口で対応される職員の方によってはとても良い対応の方とそうでない方、また、質問をしても非常に分かりやすく説明していただける方と、全く答えてもらえず(質問の答えになってない)困ってしまう事があります。人事異動そのものは仕方ないことだと思いますが、対応される職員の方によってその後の対応に違いが出てくることは大問題であると思います。ユニバーサルデザインの観点からも適材適所していただきどこでだれが窓口に行っても同じ対応をしてもらえることを希望します。(30代男性)

県庁に3回お世話になったことがあります。3回とも職員の応接態度がよくありませんでした。「担当者がいないのでその件は分かりません。」の回答でありました。ある課に行き教示を請うと全然違うことを教示され大変なことになりました。再度教示を請うと「誰がそんな事を言いましたか。」と逆に質問され、犯人探して職員の方が信用できません。佐賀県の公僕としてしっかりして下さい。お願いします。(60代男性)

現在、事件、事故は毎日の様に他県は新聞、テレビに報じられている。佐賀県だけは、現在少ないほうではないかと思って居ります。県職員の皆さん公務員として恥じない様勤務に邁進して下さい。(70代以上男性)

知事を始め職員の健康を祈念し、職務遂行をお願い申し上げます。(60代女性)

職員の態度、言葉使い、みだしなみ等、他の公務員に比べ全般的によくはない。(20代男性)

窓口の対応をスムーズにしてほしい 女性の愛きょうが悪い 男性の方が感じが良い(50代女性)

公務員の二馬力(夫婦二人とも公務員)やめろ!!(40代女性)

公務員の給与の見直し(まだまだもらいすぎ)(40代男性)

県政を担う県庁職員が仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のとれた働き方を実現できなければ、持続的に活力のある行政展開ができません。時期的に多忙期があるのはやむを得ないと思うが、残業削減、休暇の取得促進により、メリハリのある働き方を奨励し、仕事以外の活動をする余裕を与えることで、行政への新たなアイデアも生まれると信じます。職員がまず、佐賀での生活をエンジョイして模範を示して下さい。(40代女性)

県民の立場に立った対応ができるよう職員のあいさつや対応のしかたなど社会人として基本的なことができていないことが多すぎる。サービス業という自覚をもって職員の資質の向上を図ってほしい。(30代男性)

県職員の出来れば大手会社への派遣。幹部職員の一定期間派遣の義務化。(60代男性)

問31で県職員の印象とあったが最近では県職員と接する機会がないので答えようがない。2年前くらい県庁で何日間か仕事をしたことがあるが、皆さん真面目に仕事をしてはいるが、民間に比べて「のんびり」している感じはいない。(民間が1人でしている仕事を2、3人でしている感じ)、また外からの来庁者が挨拶して部屋に入ってくるのに、中の県職員は誰一人として挨拶を返さない。社会人としての感覚を疑う!!しかし、昼休みの消灯や冷暖房の温度に気をつけてある努力は認めます。(40代女性)

以前、県庁新館のある課に用事があったところ、ノックして声かけて室内に入ったにもかかわらず誰も自ら対応しようとはせず、さらには数人で談笑しながら見向きもしない人達がいた。最近では窓口対応を行うところは県民に対する応待がきちんと行われているが、通常一般客が来ることの少ない部署は今でも十分お役所仕事なのだとがっかりした。(30代女性)

県政の発展のため、多くの県庁職員が日々努力されているのだらうと察します。が、その裏でたった1人の女性職員の取った行動により一県民として憤慨中。私は県内企業に勤務、仕事で事務処理のトラブルが発生し、女性職員とTELにて会話。ミス指摘され、詫言を入れつつミス修正のためのお願いをしたところ”そっちは受注者でしょ?”とTELを投げるように切られてしまいました。そして後日再度TELまたは話し途中でTELを投げるように切られてしまいました。税金での仕事、ミスは許されないと気持ちだったのかもわかりませんが、商品(納品)自体にミスがあったわけでもなく、その態度は、いったい何様。まちがいはまちがいで抗議するのはあたりまえ。しかし、そのやり方をまちがってしまえば正しいことも正しくなくなってしまう。TELを投げるように切ってしまうという行動が果たして社会人として正しいのでしょうか? 県民満足度...アンケートに記入するのにとまどってしまいました。人の質が向上しないと何ひとつ良くはならないのではないかと...。TELを投げつけるように切ってしまう人間のいる県庁(県政)に何が出来るの?(30代女性)

職員の給与も減額が必要だと思います。早急の実施してほしい。地元企業との賃金格差が大であると考えます。(60代男性)
公平公正であって欲しい。県、市の吏員は自分の仕事に責任を持って仕事をしていただきたい。一部の人あまり働かない。(70代以上)
県職員を削減してほしい。公務員の給与を下げる。超勤手当、特勤手当のカット。休日出勤は代休にする(超勤手当無しの代休)。(70代以上男性)
県が新たに職員その他雇用する場合は、雇用難の折から、家族に公務員のいる人でなく財政的に困窮している様な働く意欲のある人を採用して欲しい。そうすれば少しでも生活困窮者が助かると思う。例え、パートや臨時職員の採用でも！(70代以上男性)
公僕である職員を育てる。歳出を減らす(県職員多すぎる)。公務員の罰則、一般会社並にする。給料に見合う仕事をする(特に上層部、遊んでいるのが多い)。(50代女性)
一般の中小企業に比べ県職員の給料は高い。まずはそこから経費節減に取り組んでほしい。(70代以上女性)
県職員は、新知事の意識改革には精神的に、また思考や行動力的に、まだまだ理解し着いて行けない状況が各対応で見られており、特に幹部クラスの年齢に達した中堅職員に、その傾向が強く見られる。この急激な変遷に対処出来ず、己の旧態依然とした「殻」にひたすら、首を縮めているのみと見受けられる。これでは活性化は程遠い。(60代男性)
公務員は国民(県民)の公僕であるという原点の意識を、もっと個々人に持つように指導してもらいたい。(50代男性)
問31にも書きましたが、県庁は各市町のとりまとめ機関として、様々な指導等を県内市町にされていると思いますが、指導・とりまとめをする機関として職員の教育はされているのですか？外に目を向けるのであれば内側をしっかりと教育されてから表に出ないと、県民が恥をかくことになると思います。(50代女性)
市職員はいがいと身近であるが、県職員は普段かかわりが無い感じがする。それでも特に不満は少ないので、県職は出来るだけ少人数・少予算で必要最小限の業務で良い。その分各市町村を充実させると、より地域密着が充実すると思う。 雇用不足は公務員が“高れいでもやめない風土”があるのも一要因。もっときびしく業務せいか主義・査定・給料等対応すれば、若い人に雇用が生まれる位やめる人も発生するのではないか？(30代男性)
佐賀県を活性化しようとしている県職員の方達の事をありがたく思います。公務員としてのプライドを高く持って日々生活されますよう祈ります。(60代女性)
(11) 県議会について
最近、議員の政務調査費が取りざたされていますが佐賀県や市町村は、どうなっているのか。詳しく知りたい。(60代男性)
議会議員に対する政務調査費はだれが見ても多額である。半分以下に切り込んでも支障はないと思うが、どうか。議会側と交渉すべき。(70代以上男性)
県議(県会議員)の数を減らし、時折アンケートなどをもっと多くして県民の声を聞いて欲しいと思います。(60代)
情報開示 県議は議員報酬以外に政務調査費を受給されているが、多額の調査費が本当に必要なのか？必要であればその用途を県民に明らかにしてもらいたい。(60代男性)
特に議員の方々には一人一人に日々の猛勉強を期待したいところです。(50代男性)
議員の数を減らしてください。議員等の退職金の大幅減額を実行せよ！！(60代男性)
県財政が赤字ならまず、県議員を減らす。(70代以上男性)
県会議員の給料を下げてほしい。政務調査費の廃止(税金の無駄遣い)(70代以上男性)
県議会の様子をできるだけテレビ放送をしてもらいたい。(70代以上男性)
財政 人件費を減らすために県議会議員の削減を実現して欲しい。(70代以上男性)
県議会等は殆んど自民党独占の感がする。(70代以上女性)

佐賀県議会の特権コンテストの順位と内容はどうなっていますが。(07年2月10日佐賀新聞)(60代男性)
(12)本調査について
調査だけに終わらず実行してください。(50代男性)
県民満足度調査の依頼は勉強になることも沢山ありますが80才を越えた老人には理解に難しかったお願いでした。(70代以上女性)
質問項目が多すぎる。文が長い為読むだけでも長くかかる。(30代男性)
回答を依頼した方へは、今回のアンケート調査の集計結果をどのような施策に反映されたかをお知らせ頂けないでしょうか。一方通行では、くらし満足度を高める県政づくりとは言えないのではないのでしょうか。(40代男性)
満足度調査依頼は一方向的に来るが、その結果や目的・対応策などの活用結果を調査依頼した人には少なくとも知らせるべきです。またそれが県政への意識向上につながります。やりっぱなしはやめてほしい。(40代男性)
もっと興味がわくようにした方がいい。(20代女性)
老齡の為(86才女性)難しかった。(70代以上女性)
こんな多くの設問に答える人は誰?調査の方法に問題ありませんか?解答もかなり誘導されているようです。これでは県民は満足していることとなります。(答えを出す前に)調査を作った人は素人ですね。(40代女性)
このような調査を行い県政の参考にされていること大変良い事だと思います。ホームページや広報紙も良いのですがなかなか目を通す機会がありませんし、職員の皆さんの姿もなかなか見えてこないのが正直なところです(30代女性)
この調査を書き込みながら自分が県政に無関心だったことを痛感し、これからは我が町のことから見つめ直し、佐賀県の事をもっと知りたい!又知らなくては!と思いました。私に調査を頂きました事、有難うございました。(60代女性)
県政に関心を持っていなかったことに気づくことができたので、いい機会でした。(30代女性)
本アンケートの設問が多すぎて、最後の項目はどうでも良いや!!と感じながら回答。分野を絞ったアンケートにすべきと考える。(50代男性)
書いても一緒です。(50代男性)
ぜひアンケートを参考に施策をいろいろだしていただけたらと思います。(50代男性)
他県から嫁いで来たので、県政のことなど具体的に考えることはあまりありませんでしたが、このアンケートをきっかけに少し考えが変わりました。(20代女性)
質問はすべて日本語でお願いしたい。しっかりした日本語で!!外国語は日本語に直して使うことが大切で日本語もよくわからない人間が外国語を使うべきではないと思う。安易に外国語を公共の場では使用しないでほしい。(70代以上男性)
意見・・・申し訳ないけど高齢の私達より、70歳位の人を選んでいただきたいと思います。大正生まれでは何の役にもならないと私は思います。(70代以上女性)
箇条書きの一つ一つに、自分の考えをあてはめることはとても大変でした。しかし、県政のお役に立つならばいくらかでも協力したいと思っています。決して無関心でもなく「きれいごと」も受け止め、現実を考えて生活しております。また機会がございましたらぜひ協力させて下さい。皆様方のご努力に感謝いたします。乱筆乱文失礼致します。(40代女性)
このような調査は県政を身近に感じて私も何かの役に立ってるなーとの思いでした。懸命になれました。これから県民が楽しく暮らせる様祈りたいです。ありがとうございました。(60代女性)
「あたま」の運動をさせていただいてありがとうございました。県政に関わる様々な問題の多さに驚きました。でも、今、平和に静かに暮らせる環境を心から感謝致しております。皆様の御苦勞のお陰と存じます。(70代以上女性)
ブロードバンド環境整備等、ブロードバンドとはインターネットで知ってますが、他の意味がわかりません。他に横文字での設問がありました但しわかりやすい言葉でお願いします。(50代女性)
このアンケートに「九州新幹線(西ルート)とかプルサーマル計画についての必要性についてどう感じているか」の問があってもよかったのではないですか。せっきくのアンケートですので・・・。(40代男性)

例えばこのアンケートで新幹線整備についての質問があってもいいのでは。(40代男性)

アンケート項目は、行政側から見た、つまり県の職員で作られた思いが強く感じられ、まず年代層や項目、それに付随する回答内容にバラエティが見られない。(60代男性)

この調査結果も、おざなりにならないか心配。(30代男性)